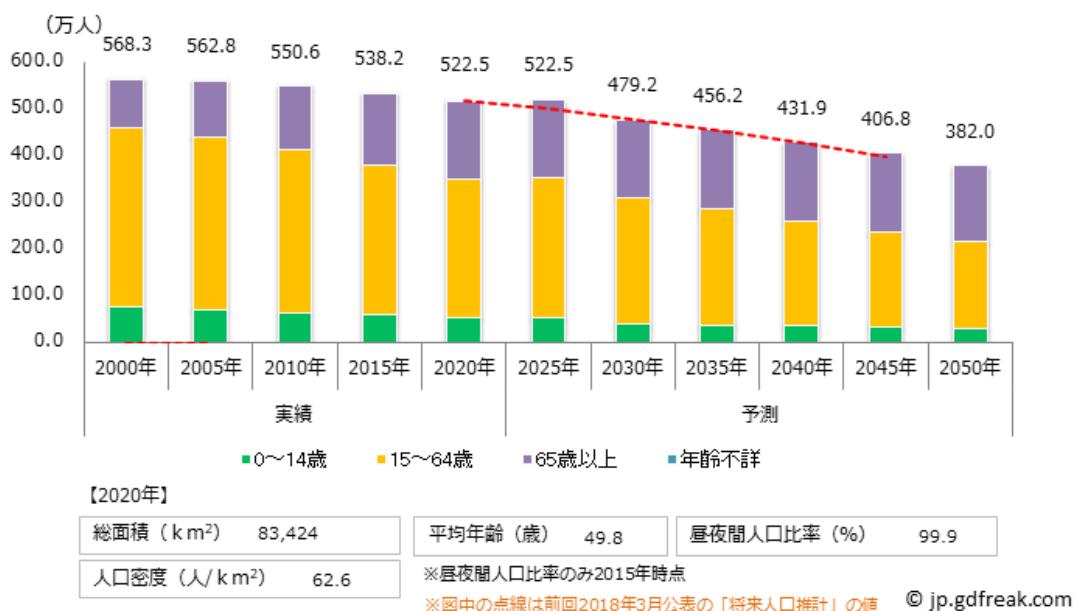


学生確保の見通し等を記載した書類 資料目次

資料 1	北海道の人口と世帯	
資料 2	地域包括ケアシステムの推進	
資料 3	地域包括ケアシステムの推進	
資料 4	大学全体の在学者数	
資料 5	社会科学系学部の 5 年間における「志願倍率」「充足率」	
資料 6	高等教育機関への進学率	
資料 7	本学の真栄キャンパス	
資料 8	本学の月寒本キャンパス	
資料 9	高校生へのアンケート調査	
資料 10	ヒューマンデザイン学部医療 DX マネジメント学科のアンケート内容	
資料 11	〃	回答結果
資料 12	〃	クロス集計
資料 13	ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科のアンケート内容	
資料 14	〃	回答結果
資料 15	〃	クロス集計
資料 16	人材需要に関するアンケート調査	
資料 17	ヒューマンデザイン学部医療 DX マネジメント学科の回答結果	
資料 18	ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科の回答結果	

北海道の人口と世帯

北海道の人口推移



データ出所

総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基に GD Freak!が作成

[HOME](#)>[保健福祉部](#)>[福祉局高齢者保健福祉課](#)>[地域包括ケアシステムの推進](#)

ページ内目次

- [地域包括支援センター](#)
- [地域支援事業](#)
- [保険者機能の強化](#)
- [医療と介護の連携](#)
- [介護予防・重度化防止の推進](#)
- [その他関連情報](#)

全国を上回るスピードで高齢化が進む本道において、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、道では、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進するための取組を進めています。

- ▶[地域包括ケアシステム\(厚生労働省関連ページリンク\)](#)↗
 ▶[道内の地域包括ケアシステム取組事例集](#)

地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの実現には、介護サービスをはじめ、様々なサービスが高齢者のニーズや状況の変化に応じて、切れ目なく提供される必要があります。

こうした高齢者の生活を支える役割を果たす総合機関として「地域包括支援センター」は道内全ての市町村に設置されています。

- ▶[詳細はこちら\(設置状況一覧、研修会\)](#)

地域支援事業

市町村では、地域包括ケアシステムの実現に向けて、高齢者の社会参加・介護予防に向けた取組、配食・見守り等の生活支援体制の整備、在宅生活を支える医療と介護の連携及び認知症の方への支援の仕組み等を一体的に推進しながら高齢者を地域で支えていく体制を構築するため、地域支援事業を実施しています。

- ▶[総合事業における事業所評価加算について](#)
 ▶[介護予防・日常生活支援総合事業\(厚生労働省関連ページリンク\)](#)↗

保険者機能の強化

平成 29 年地域包括ケア強化法において、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、PDCA サイクルによる取組が制度化されています。この一環で、国においては、自治体への財政的インセンティブとして、市町村や都道府県の様々な取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、市町村や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金を創設しています。令和2年度には、公的保険制度における介護予防の位置づけを高めるため、介護保険保険者努力支援交付金(社会保障の充実分)が創設され、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより配分基準のメリハリ付けを強化しています。

道では、この保険者機能強化推進交付金等の評価結果を活用し、市町村の実状及び地域課題の分析を行い、高齢者の自立支援及び重度化防止等に向けた取組を支援しています。

- ▶ [保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金\(厚生労働省関連ページリンク\)](#)↗

医療と介護の連携

医療と介護の連携は地域包括ケアシステム構築の重要な役割の一つであり、平成 27 年度(2015 年度)には、「在宅医療・介護連携推進事業」が市町村の地域支援事業として位置づけられ、平成 30 年度(2018 年度)からは道内全ての市町村で実施されています。

道では、医療・介護連携の充実に向け、介護関係職員の資質向上に係る支援や、在宅医療・介護連携コーディネーターの育成等を行っています。

- ▶ [介護関係職員医療連携支援事業](#)
- ▶ [在宅医療・介護連携コーディネーター研修\(令和6年度研修は終了しました\)](#)
- ▶ [「医療と介護の連携に関する意見交換会」の開催](#)
- ▶ [医療と介護の一体的な改革\(厚生労働省関連ページリンク\)](#)↗

介護予防・重度化防止の推進

高齢者がその有する能力に応じ自立した生活を営むためには、要介護状態等の予防が重要です。

介護予防を進めるに当たっては、高齢者的心身の状態が自立、フレイル※、要支援、要介護、またその状態が可変であるというように、連続的に捉えて支援するという考え方方に立って行う必要があります。

※「フレイル」とは、「要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。」と日本老年医学会により定義されています。

[▶フレイル予防](#)

[▶介護予防\(厚生労働省関連ページリンク\)↗](#)

その他関連情報

高齢者等終身サポート事業者ガイドライン

近年、「高齢者等終身サポート事業※」を行う事業者が増加しており、今後、当該事業のニーズも増加が見込まれる中、業務の内容が民事法や社会保障関係法に広くまたがることから、国において、遵守すべき法律上の規定や留意すべき事項等を関係省庁横断で整理したガイドラインを策定しました。

※病院への入院や介護施設等への入所の際の手続支援、日用品の買い物などの日常生活の支援、葬儀や死後の財産処分などの死後事務等について、家族・親族に代わって支援する事業。

[▶「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」の策定について\(国通知\)↗](#)

[▶高齢者等終身サポート事業者ガイドライン\(厚生労働省関連ページリンク\)↗](#)

カテゴリ

- [高齢者施策](#)

福祉局高齢者保健福祉課のカテゴリ

•地域包括ケアシステム

このページに関するお問い合わせ



保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課地域支援係

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : 011-204-5275

FAX : 011-232-8308

I. 学校数、在学者数、教員数

2. 高等教育機関

(注)本項は令和6年8月28日に速報値を公表済であり、その一部の数値について確定値に更新したものである。

< 在学者数 >

- 大学全体の在学者数は、295万人で、前年度より4千2百人増加し、過去最多。

うち学部 262万8千人で、前年度より4千5百人減少。

うち大学院 27万2千人で、前年度より5千7百人増加。

うち専攻科 9百人で、前年度とほぼ横ばい。

うち別科 6千7百人で、前年度より1千9百人増加。

うちその他 4万2千人で、前年度より1千2百人増加。

- 大学学部の女子学生は、120万6千人で、前年度より1千3百人増加し、過去最多。

また、学部学生に占める女子学生の割合は、45.9% (前年度より0.2ポイント上昇) で過去最高。

- 短期大学学生数は、7万8千人で、前年度より8千4百人減少。

- 高等専門学校学生数は、5万6千人で、前年度より2百人減少。

- 専門学校生徒数は、55万8千人で、前年度より2千9百人増加。

< 教員数 >

- 大学全体の女性の教員数は、5万3千人 (前年度より1千2百人増加) で過去最多。

また、教員全体に占める女性の割合は、27.8% (前年度より0.6ポイント上昇) で過去最高。

表2 高等教育機関の学校数、在学者数、教員数

区分	学校数(校)				在学者数(人)					教員数(本務者)(人)			
	計	国立	公立	私立	計	うち女子		国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率(%)
						うち女子	女子の比率(%)						
大学	(3) (—) (1) (2) 813 86 103 624	(4,196) 2,949,795	(5,617) 1,319,971	(0.1) 44.7	(3,790) 603,967	(2,157) 168,072	(-1,751) 2,177,756	(653) 192,531	(1,178) 53,449	(0.6) 27.8			
うち学部	(4) (—) (1) (3) 787 82 100 605	(-4,465) 2,628,310	(-4,287) 1,205,593	(0.2) 45.9	(2,180) 433,387	(1,971) 147,654	(-8,616) 2,047,269						
うち大学院	(2) (—) (1) (1) 663 86 91 486	(5,662) 271,639	(2,550) 89,772	(0.2) 33.0	(1,529) 156,235	(137) 17,933	(3,996) 97,471						
うち修士課程	(4) (—) (1) (3) 633 85 89 459	(2,963) 171,669	(1,265) 54,679	(0.2) 31.9	(149) 94,873	(10) 11,535	(2,804) 65,261						
うち博士課程	(6) (—) (1) (5) 468 77 73 318	(1,876) 77,717	(897) 27,111	(0.3) 34.9	(1,275) 52,753	(121) 5,609	(480) 19,355						
うち専門職 学位課程	(—) (—) (—) (—) 121 60 9 52	(823) 22,253	(388) 7,982	(0.5) 35.9	(105) 8,609	(6) 789	(712) 12,855						
うち専攻科		(-41) 898	(-8) 708	(2.5) 78.8	(-30) 230	(4) 145	(-15) 523						
うち別科		(1,851) 6,704	(1,086) 3,585	(2.0) 53.5	(2) 309	(-1) 77	(1,850) 6,318						
うちその他		(1,189) 42,244	(702) 20,313	(0.3) 48.1	(109) 13,806	(46) 2,263	(1,034) 26,175						
短期大学	(-6) (—) (—) (-6) 297 — 15 282	(-8,394) 78,295	(-8,220) 67,245	(-1.2) 85.9	(—) —	(-269) 4,921	(-8,125) 73,374	(-292) 6,237	(-143) 3,363	(0.2) 53.9			
高等専門学校	(—) (—) (—) (—) 58 51 3 4	(-234) 56,342	(485) 13,203	(0.9) 23.4	(-175) 50,859	(-52) 3,762	(-7) 1,721	(-62) 3,922	(-3) 496	(0.1) 12.6			
専門学校	(-17) (—) (-2) (-15) 2,676 8 176 2,492	(2,913) 558,255	(-1,269) 321,379	(-0.5) 57.6	(-24) 215	(-946) 20,549	(3,883) 537,491	(-187) 35,706	(-53) 19,149	(0.1) 53.6			

(注) 1 ()は、前年度からの増減値である。

2 「在学者数」には、学部学生・本科学生のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

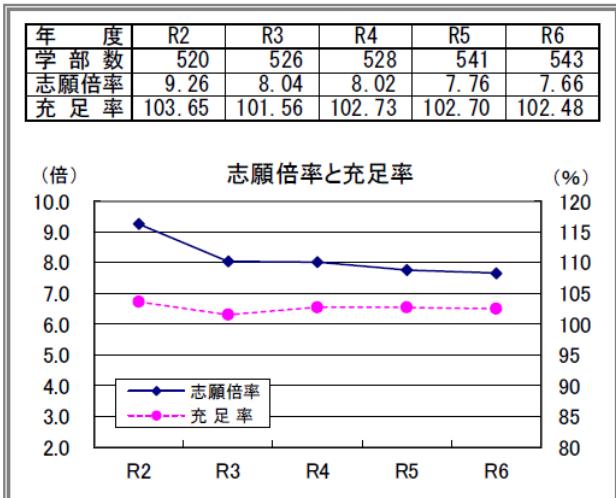
3 「大学」のうち数については、在学者がいる学校数を計上している。

4 「うちその他」の学生とは、科目等履修生、聴講生及び研究生である。

5 「専門学校」とは、専修学校のうち専門課程を置く学校をいう。

令和6（2024）年度私立大学入学志願動向
社会科学系学部の5年間における「志願倍率」「充足率」

社会科学系



社会科学系

経営/経済/法/商/社会/社会福祉/情報/現代社会/総合政策/人間社会/経営情報/経済経営/観光/政治経済/現代ビジネス/人間福祉/国際経営/総合経営/国際観光/社会情報/総合福祉/経営経済/総合社会/社会科/政経/国際政治経済/環境情報/経営法/社会環境/マネジメント/国際社会/政策/ビジネス/地域創生/情報社会/経済情報/産業社会/商経/流通科/コミュニケーション/流通情報/経済科/現代法/現代日本社会/現代福祉/福祉社会/生涯福祉/21世紀アジア/人間健康福祉/コミュニケーション/福祉/現代経営/コミュニティ政策/シティライフ/ビジネス情報/マネジメント創造/都市生活/サービス経営/福祉/総合マネジメント/ビジネスデザイン/情報マネジメント/現代コミュニケーション/公益/現代マネジメント/観光ビジネス/アジア太平洋/知的財産/産業情報/地域政策/ネットワーク情報/社会イノベーション/政策情報/福祉総合/ビジネスマネジメント学群/グローバルビジネス/地球社会共生/観光コミュニケーション/地域創造/都市創造/国際社会科/情報連携/地域経営/公共/国際コミュニケーション/地域共創/メディアビジネス/社会情報デザイン/経法商/事業創造(専門職)/情報(専門職)/環境デザイン/アントレプレナーシップ/観光まちづくり/地域総合/福祉社会デザイン/人間社会科/サステナビリティ観光/グローバルビジネス(専門職)/共創社会/総合経済/国際共創/心理・福祉/流通/社会システム科/社会共生

※ 日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター集計

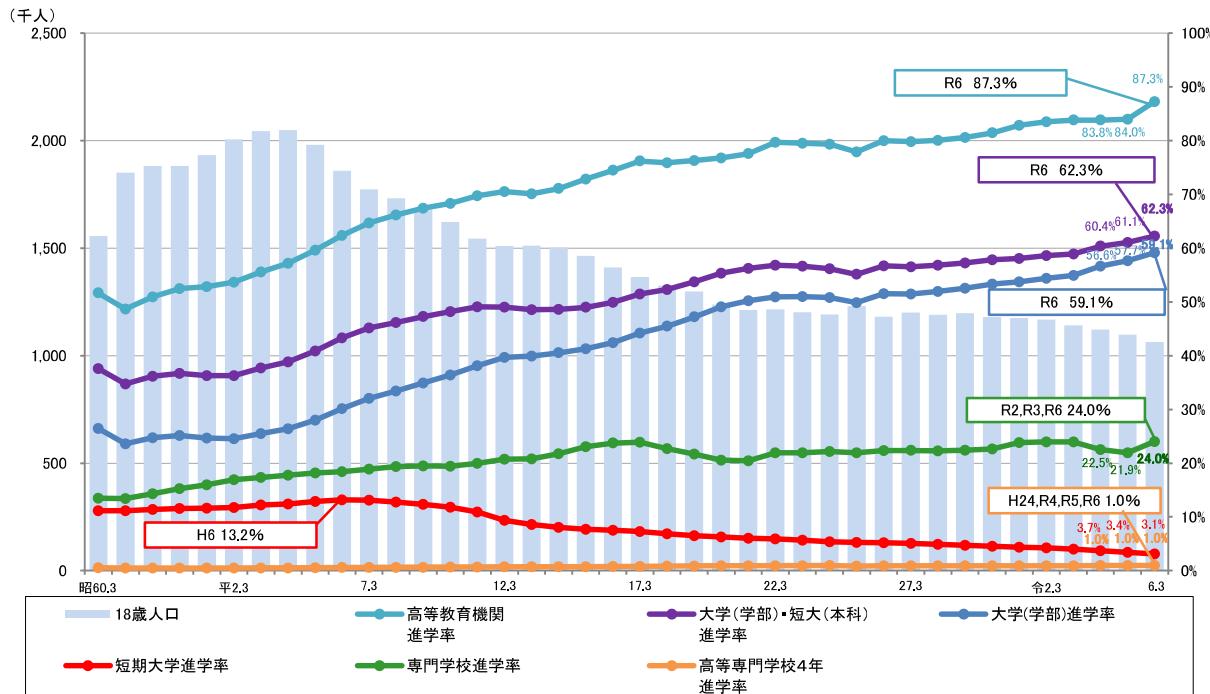
高等教育機関への進学率

II. 卒業後の状況

1. 高等学校等卒業者

- 高等教育機関(大学(学部)・短期大学(本科)入学者、高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者)への進学率(過年度卒を含む)は87.3%で、前年度より3.3ポイント上昇し、過去最高。
- 大学(学部)・短期大学(本科)進学率(過年度卒を含む)は62.3%で、前年度より1.2ポイント上昇し、過去最高。
大学(学部)進学率(過年度卒を含む)は59.1%で、前年度より1.4ポイント上昇し、過去最高。
専門学校進学率(過年度卒を含む)は24.0%で、前年度より2.1ポイント上昇し、過去最高。

図3 高等教育機関への進学率



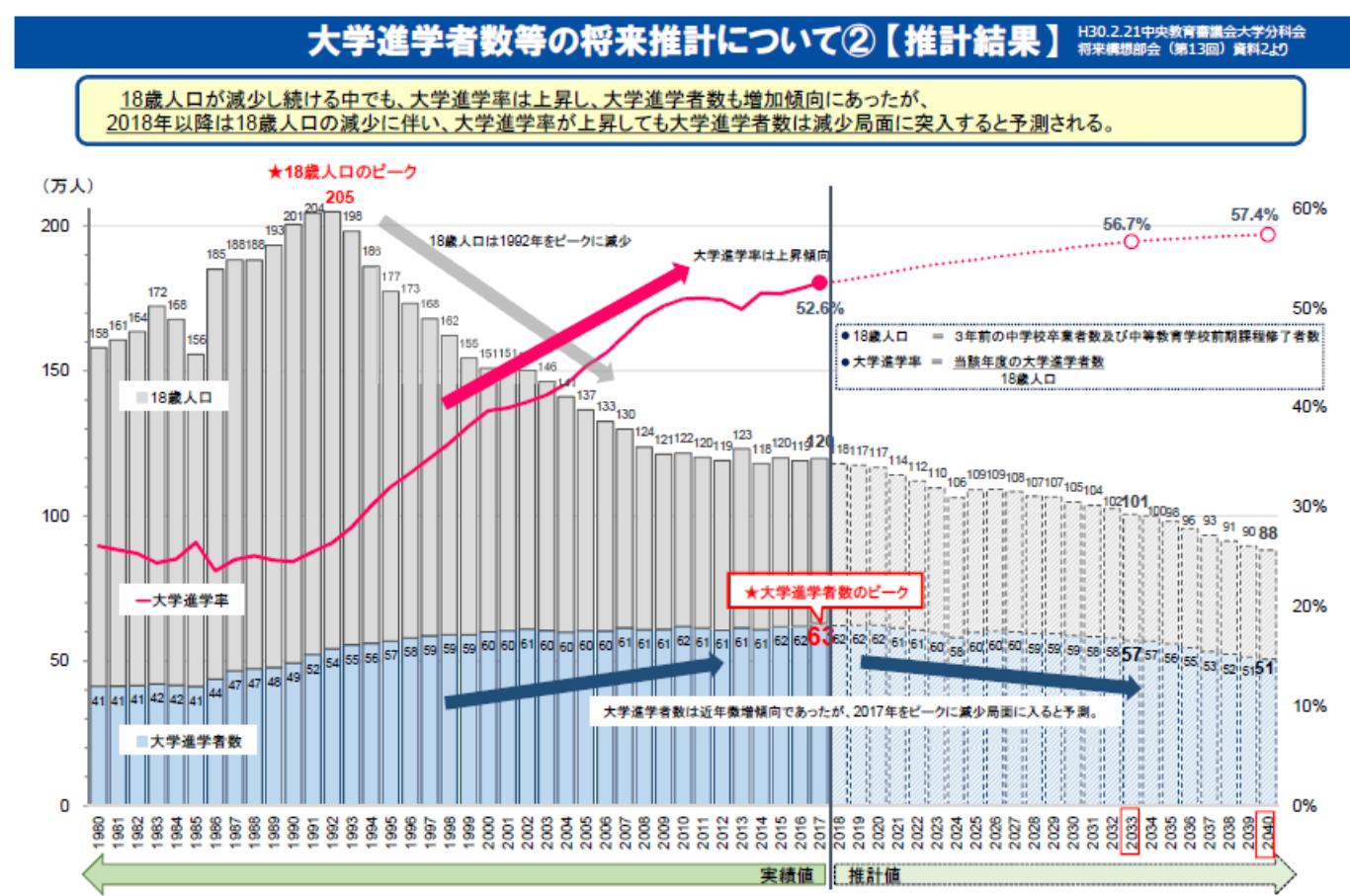
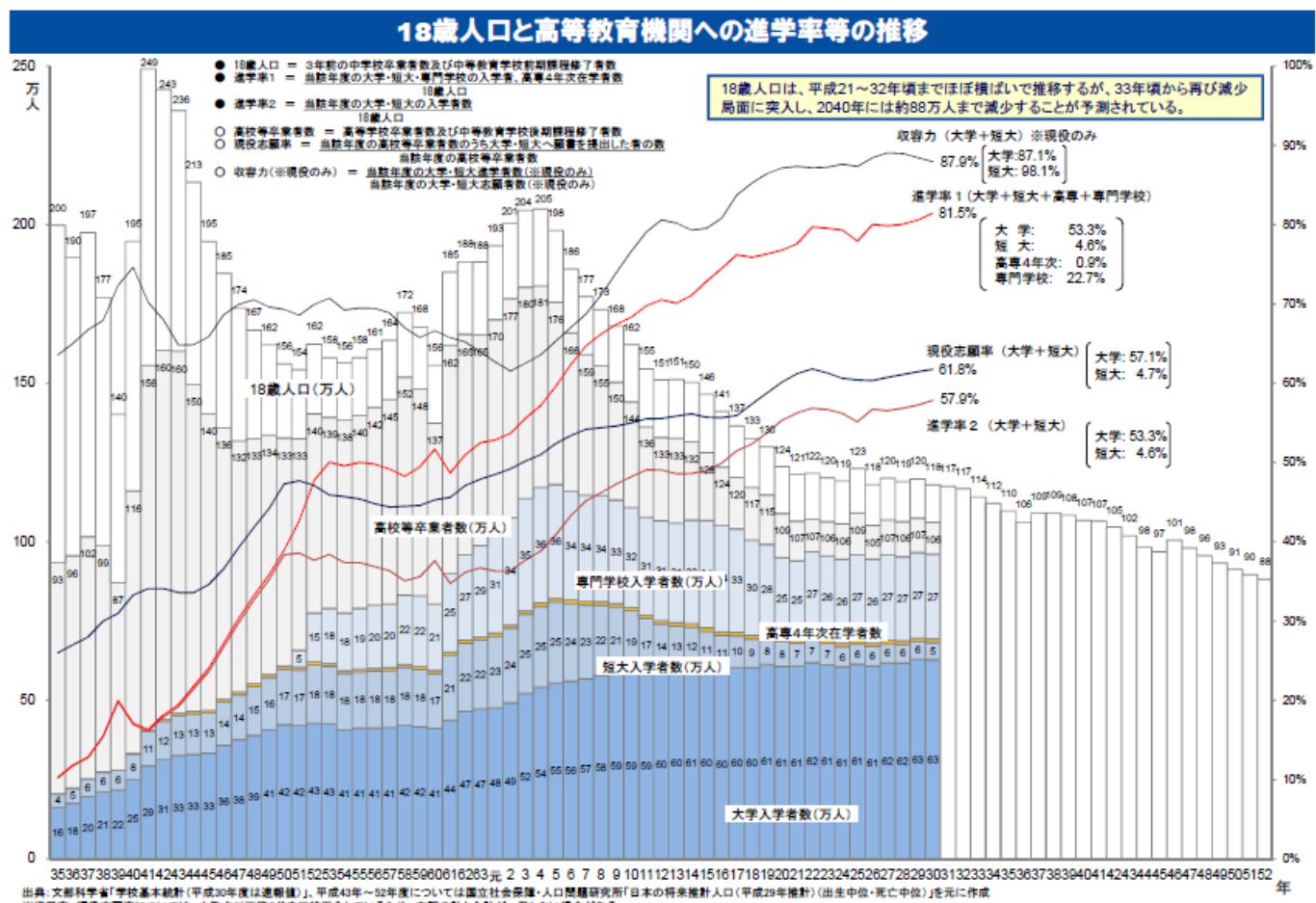
(注) 1 高等教育機関進学率 = $\frac{\text{大学(学部)・短期大学(本科)入学者、高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{18歳人口(3年前の中学校・義務教育学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者)}$

2 大学(学部)進学率 = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{18歳人口(3年前の中学校・義務教育学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者)}$

3 短期大学・専門学校の進学率は、(注)2 計算式の入学者部分にそれぞれの入学者を当てはめて算出。

高等専門学校4年進学率は、同部分に4年生の学生数を当てはめて算出。

4 □で囲んだ年度は、最高値である。



高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)②

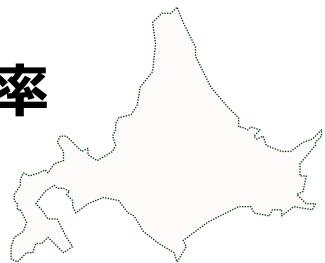
H30.2.21中央教育審議会大学分科会
将来構想部会(第13回)資料2より

	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
18歳人口【2017】	105,971	80,472	22,252	10,063	11,393	8,156	8,325	21,297	20,795	35,989	74,550	18,382
高校等卒業者数【2017】	102,326	66,400	19,427	9,115	10,550	7,564	8,229	18,898	18,379	32,825	65,204	16,212
大学進学者数【2017】	77,103	43,758	9,169	4,559	5,658	4,092	5,041	8,980	9,725	17,323	38,905	8,299
大学進学者率【2017】	72.8%	54.4%	41.2%	45.3%	49.7%	50.2%	60.6%	42.2%	46.8%	48.1%	52.2%	45.1%
(国公私別)【2017】	6.2% 0.9% 85.7% 3.4% 1.1% 49.9% 8.6% 3.0% 29.7% 14.9% 4.1% 26.3% 3.8% 3.6% 32.3% 31.1% 5.6% 31.4% 8.9% 5.0% 46.7% 8.2% 3.3% 30.7% 9.1% 2.8% 34.9% 7.8% 3.5% 36.8% 9.1% 2.8% 40.3% 8.6% 2.3% 34.2%											
短大進学率【2017】	2.5%	3.5%	4.3%	6.7%	6.9%	5.3%	5.6%	8.7%	6.9%	4.1%	3.8%	4.9%
専門学校進学率(現役)【2017】	11.7%	15.7%	26.0%	17.0%	13.5%	14.8%	17.5%	20.8%	13.2%	17.2%	12.6%	15.0%
大学数【2017】	138	32	18	5	12	6	7	9	12	12	51	7
(国公私別)【2017】	12 2 124 2 2 28 3 3 12 1 1 3 2 3 7 1 2 3 1 2 4 1 2 6 1 3 8 2 2 8 4 4 43 1 1 5											
入学定員【2017】	142,722	45,971	5,907	2,450	5,901	2,275	3,835	3,428	4,820	8,001	40,877	3,110
入学定員(国公私別)【2017】	9,740 1,570 131,410 1,662 2,070 43,230 2,482 585 2,840 1,800 330 320 1,726 350 3,825 855 425 995 825 990 2,020 1,978 380 1,070 240 200 3,380 2,145 890 4,966 9,982 1,708 35,187 3,110 100 1,700											
大学入学者数【2017】	153,113	49,011	5,972	2,480	6,063	2,418	3,829	3,621	4,649	8,157	43,163	3,299
(国公私別)【2017】	10,180 1,641 141,382 1,713 1,188 46,110 2,588 620 2,764 1,853 356 271 1,779 376 3,908 875 476 1,067 854 1,148 1,827 2,074 448 1,099 1,271 212 3,166 2,193 988 4,976 4,177 1,787 37,199 1,370 100 1,829											
県外から流入【2017】	102,137	31,242	2,711	1,547	3,534	1,135	2,622	2,173	2,730	3,255	15,170	1,595
県内から流出【2017】	26,127	25,989	5,908	3,626	3,129	2,809	3,834	7,532	7,806	12,421	10,912	6,595
流出入差(流入-流出)【2017】	76,010	5,253	-3,197	-2,079	405	-1,674	-1,212	-5,359	-5,076	-9,166	4,258	-5,000
自県進学率【2017】	66.1%	40.6%	35.6%	20.5%	44.7%	31.4%	23.9%	16.1%	19.7%	28.3%	72.0%	20.5%
18歳人口推計【2040】	106,569	61,879	14,216	6,610	7,819	5,414	5,195	13,687	13,839	24,828	57,157	12,497
大学進学者数推計【2040】	77,539	34,848	5,863	3,157	4,179	3,255	3,721	5,770	6,949	12,762	31,099	5,804
大学進学者率推計【2040】	72.8%	56.3%	41.2%	47.8%	53.4%	60.1%	71.6%	42.2%	50.2%	51.4%	54.4%	46.4%
大学入学者数推計【2040】	131,389	40,573	4,032	1,804	4,469	1,883	2,942	2,610	3,516	6,168	33,550	2,442
(国公私別)【2040】(※注)	8,736 1,408 121,240 1,418 983 38,171 1,747 419 1,066 1,348 259 197 1,311 277 2,881 681 371 831 656 882 1,404 1,495 323 792 961 160 2,395 858 747 3,762 2,471 3,89 28,914 1,014 74 1,354											
入学定員充足率推計【2040】	92.1%	88.3%	68.3%	73.6%	75.7%	82.8%	76.7%	76.2%	73.0%	77.1%	82.1%	78.5%
(国公私別)【2040】(※注)	89.7% 89.7% 92.3% 85.3% 91.9% 88.3% 70.4% 71.6% 65.7% 74.9% 78.5% 61.6% 76.0% 79.2% 75.3% 79.7% 87.2% 83.5% 79.5% 89.1% 69.5% 75.6% 85.0% 74.0% 77.5% 80.2% 70.8% 77.3% 83.9% 75.8% 81.5% 81.3% 82.2% 77.4% 74.0% 79.6%											

(※注)2017年の国公私の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

2024年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)参考資料(5/11)より抜粋

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 北海道版



【将来予測 2023~2035年】

▶18歳人口予測 P2~P3

- ・2023年42,489人→2035年34,669人（7,820人減少）

【経過推移：2014年～2023年】

▶進学者数・進学率（現役）の推移 P4~P6

進学者数

- ・大学は、2014年15,480人→2023年17,603人（2,123人増加）と、13.7%増加
- ・短期大学は、2014年2,333人→2023年1,187人（1,146人減少）と、49.1%減少
- ・専門学校は、2014年10,385人→2023年8,404人（1,981人減少）と、19.1%減少

進学率（現役）

- ・大学は、2014年35.5%→2023年48.1%（12.6ポイント上昇）
- ・短期大学は、2014年5.4%→2023年3.2%（2.2ポイント低下）
- ・専門学校は、2014年23.8%→2023年23.0%（0.8ポイント低下）

▶地元残留率の推移 P7~P8

- ・大学は、2014年68.4%→2023年65.6%（2.8ポイント低下）
- ・短期大学は、2014年89.5%→2023年86.5%（3.0ポイント低下）

▶北海道エリア概要（全体） P9

■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業者数
 - ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業者数とは、高等学校を卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※）） ÷ 高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

※専門学校 = 専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート リクルート進学総研 <https://souken.shingakunet.com/>

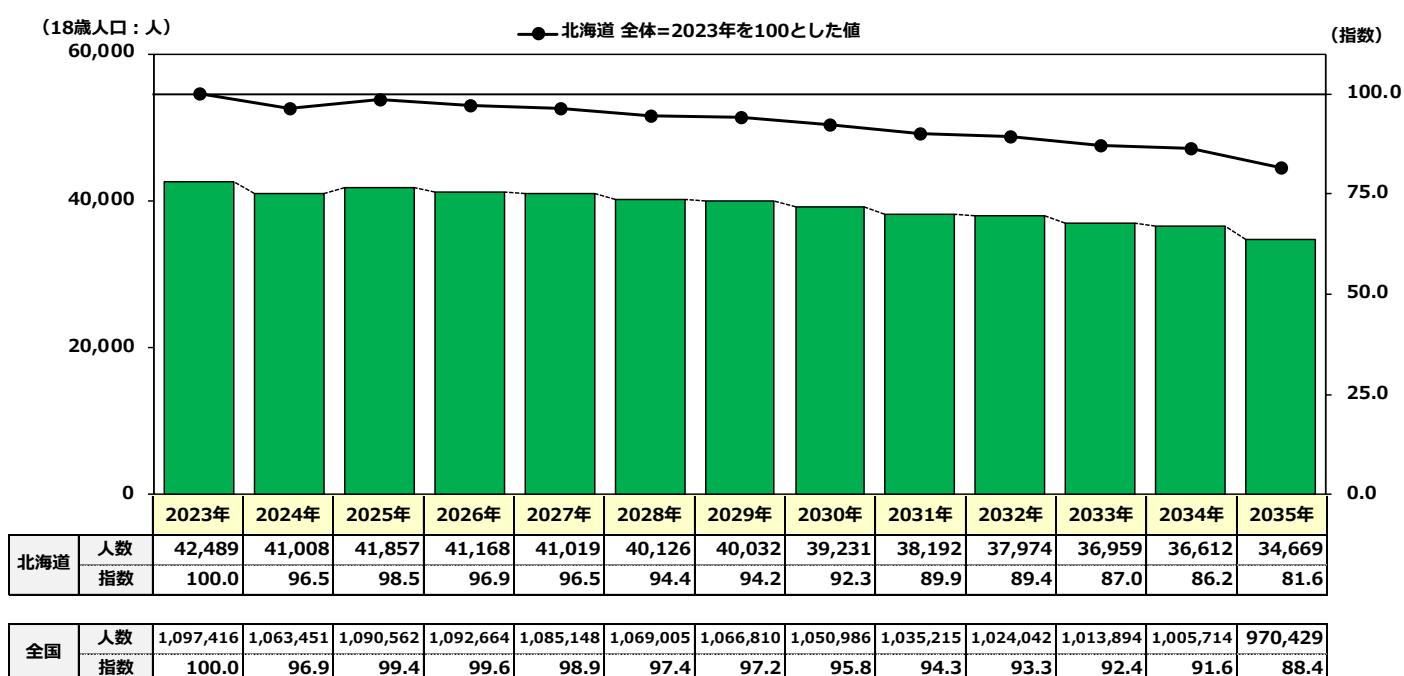
※データ等を引用される場合は出典（「リクルート進学総研」）を明記いただきますようお願いいたします。

18歳人口予測 (全体：北海道：2023～2035年)

資料6

■2023年42,489人→2035年34,669人 (7,820人減少)

- ・北海道は7,820人・18.4%減少し、全国の減少率11.6%を6.8ポイント上回る。
- ・2024年に41,008人まで減少した後、2025年に849人増加。
- ・2026年から再び減少に転じ、2035年に34,669人となる。



18歳人口予測 (男女別：北海道：2023～2035年)

資料6

■男子：2023年21,543人→2035年17,670人（3,873人減少）

- 男子は3,873人・18.0%減少し、全国の減少率11.4%を6.6ポイント上回る。
- 2024年に20,967人まで減少し、2025年に585人増加。
- 2026年から再び減少に転じ、2035年に17,670人となる。

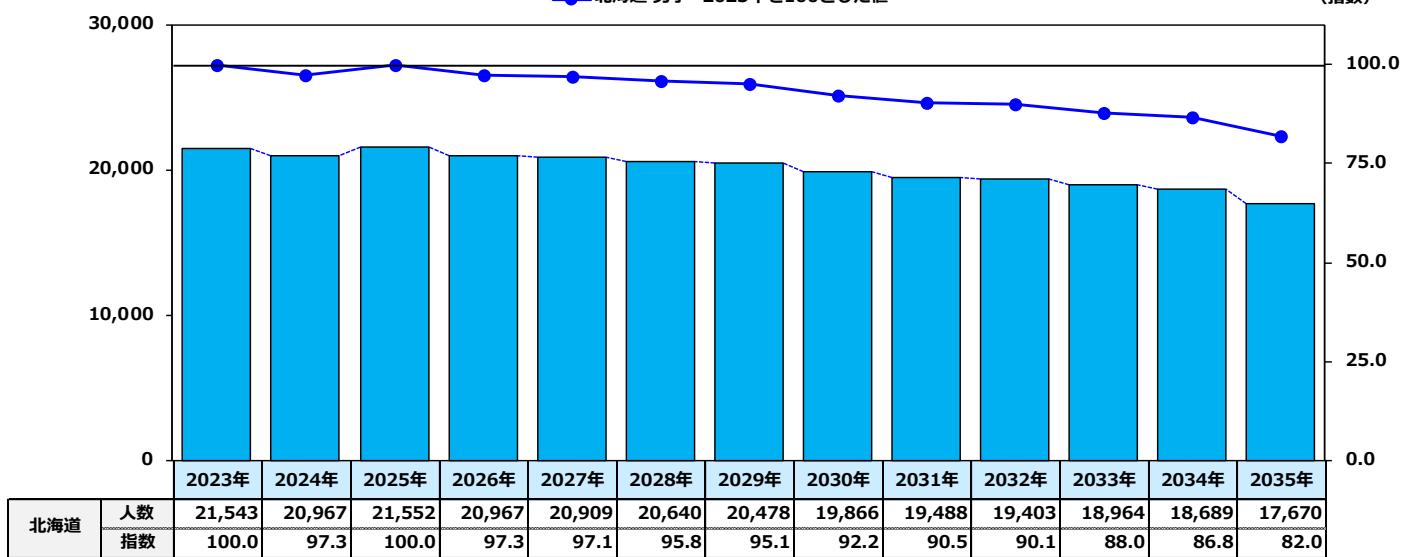
■女子：2023年20,946人→2035年16,999人（3,947人減少）

- 女子は3,947人・18.8%減少し、全国の減少率11.7%を7.1ポイント上回る。
- 2024年に20,041人まで減少し、2025年に264人増加。
- 2026年に再び減少に転じ、2029年に微増した後翌年から減少、2035年に16,999人となる。

(18歳人口：人)

● 北海道 男子=2023年を100とした値

(指標)

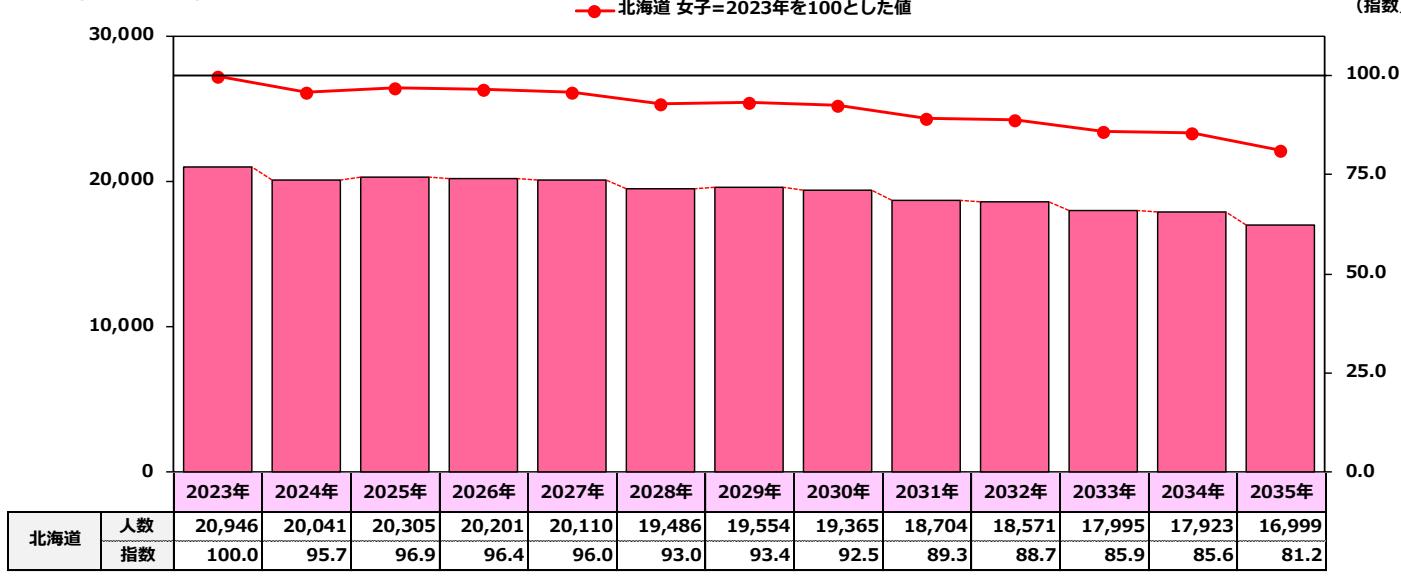


全国	人数	560,512	543,958	557,468	559,837	554,111	546,498	546,379	536,766	529,240	523,541	519,183	513,165	496,594
	指數	100.0	97.0	99.5	99.9	98.9	97.5	97.5	95.8	94.4	93.4	92.6	91.6	88.6

(18歳人口：人)

● 北海道 女子=2023年を100とした値

(指標)



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移 (全体：北海道：2014～2023年)

資料6

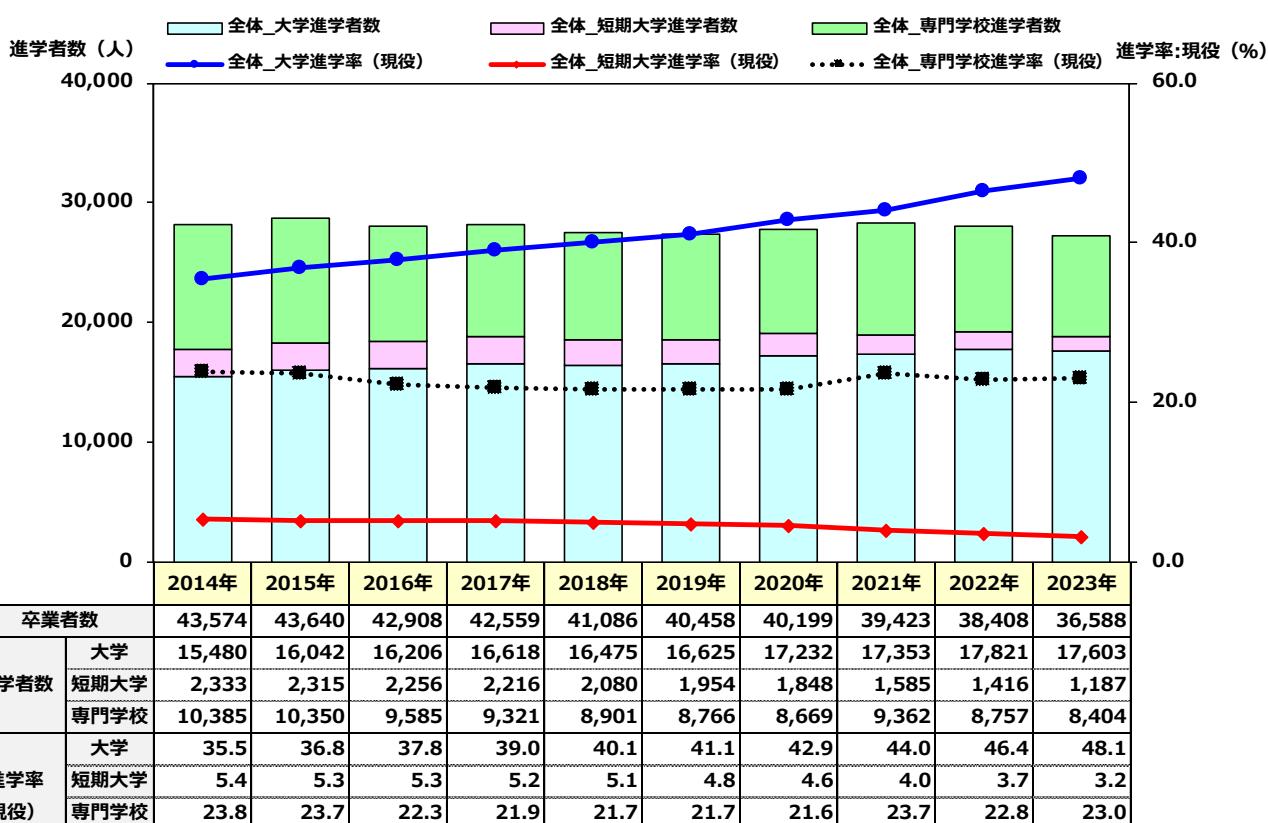
- 10年で大学進学率が12.6ポイント上昇、進学者数は2,123人増加
短期大学・専門学校の進学率はそれぞれ2.2ポイント、0.8ポイント低下し、進学者数もそれぞれ1,146人、1,981人減少

進学者数

- ・大学は、2014年15,480人→2023年17,603人（2,123人増加）と、13.7%増加。
- ・短期大学は、2014年2,333人→2023年1,187人（1,146人減少）と、49.1%減少。
- ・専門学校は、2014年10,385人→2023年8,404人（1,981人減少）と、19.1%減少。

進学率（現役）

- ・大学は、2014年35.5%→2023年48.1%（12.6ポイント上昇）。
- ・短期大学は、2014年5.4%→2023年3.2%（2.2ポイント低下）。
- ・専門学校は、2014年23.8%→2023年23.0%（0.8ポイント低下）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数：高等学校卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

※専門学校=専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移 (男子：北海道：2014～2023年)

資料6

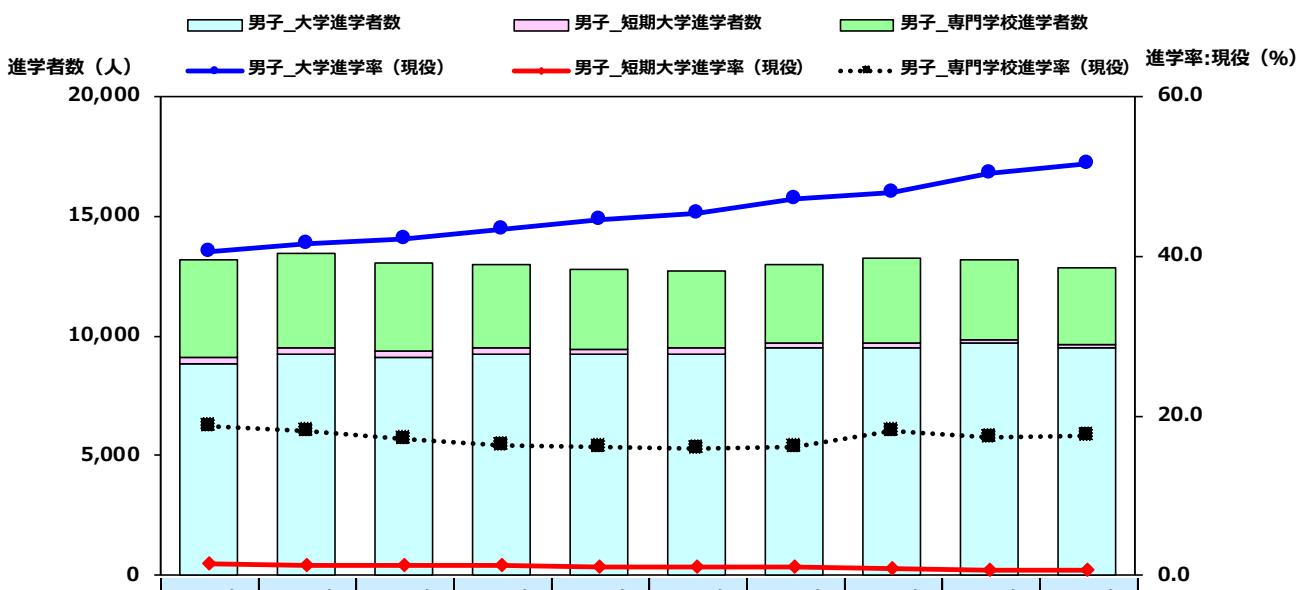
- 男子では、進学率は大学のみ11.1ポイント上昇（2014年40.5%→2023年51.6%）一方、短期大学で0.7ポイント低下（2014年1.4%→2023年0.7%）、専門学校も1.2ポイント低下（2014年18.7%→2023年17.5%）

進学者数

- ・大学は、2014年8,824人→2023年9,501人（677人増加）と、7.7%増加。
- ・短期大学は、2014年309人→2023年133人（176人減少）と、57.0%減少。
- ・専門学校は、2014年4,079人→2023年3,226人（853人減少）と、20.9%減少。

進学率（現役）

- ・大学は、2014年40.5%→2023年51.6%（11.1ポイント上昇）。
- ・短期大学は、2014年1.4%→2023年0.7%（0.7ポイント低下）。
- ・専門学校は、2014年18.7%→2023年17.5%（1.2ポイント低下）。



北海道	卒業者数		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	進学者数	大学	21,788	22,182	21,550	21,410	20,711	20,376	20,166	19,873	19,295	18,422
進学率 (現役)	大学	8,824	9,212	9,096	9,260	9,227	9,252	9,526	9,533	9,699	9,501	9,501
	短期大学	309	275	263	272	229	230	208	150	135	133	133
	専門学校	4,079	3,986	3,672	3,477	3,319	3,248	3,252	3,573	3,326	3,226	3,226
大学	40.5	41.5	42.2	43.3	44.6	45.4	47.2	48.0	50.3	51.6		
短期大学	1.4	1.2	1.2	1.3	1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
専門学校	18.7	18.0	17.0	16.2	16.0	15.9	16.1	18.0	17.2	17.5		

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数 : 高等学校卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数

・進学率（現役） : 進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

※専門学校 = 専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移 (女子：北海道：2014～2023年)

資料6

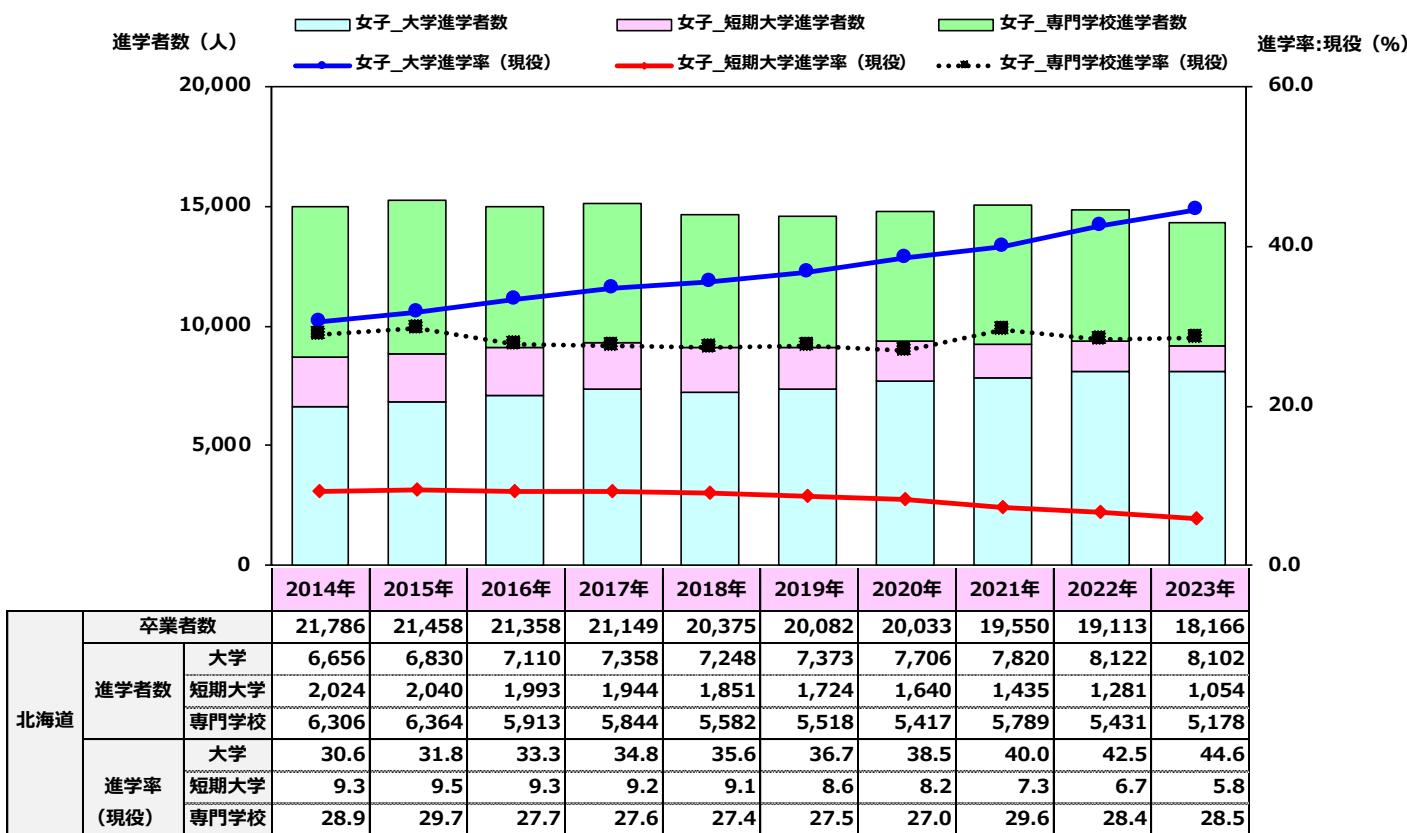
- 女子は、大学進学率が14.0ポイント上昇（2014年30.6%→2023年44.6%）
一方、短期大学は3.5ポイント低下（2014年9.3%→2023年5.8%）、
専門学校が0.4ポイント低下（2014年28.9%→2023年28.5%）

進学者数

- ・大学は、2014年6,656人→2023年8,102人（1,446人増加）と、21.7%増加。
- ・短期大学は、2014年2,024人→2023年1,054人（970人減少）と、47.9%減少。
- ・専門学校は、2014年6,306人→2022年5,178人（1,128人減少）と、17.9%減少。

進学率（現役）

- ・大学は、2014年30.6%→2023年44.6%（14.0ポイント上昇）。
- ・短期大学は、2014年9.3%→2023年5.8%（3.5ポイント低下）。
- ・専門学校は、2014年28.9%→2023年28.5%（0.4ポイント低下）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数 : 高等学校卒業した人数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数

・進学率（現役） : 進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）

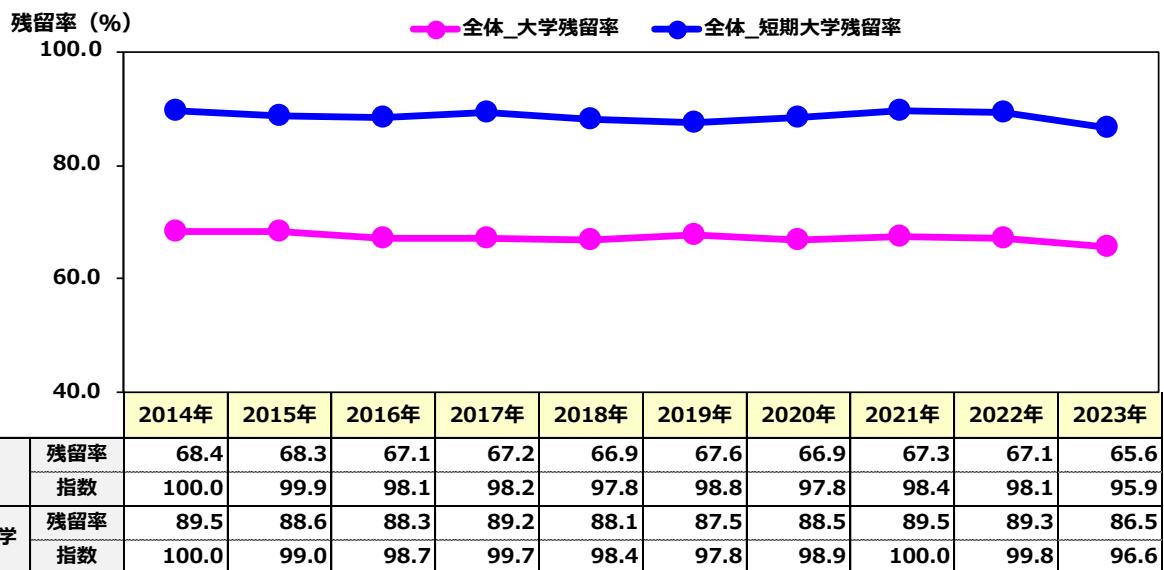
※専門学校 = 専修学校専門課程

地元残留率の推移 (全体：北海道：2014～2023年)

資料6

■大学は、2014年68.4%→2023年65.6%（2.8ポイント低下）

短期大学は、2014年89.5%→2023年86.5%（3.0ポイント低下）



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

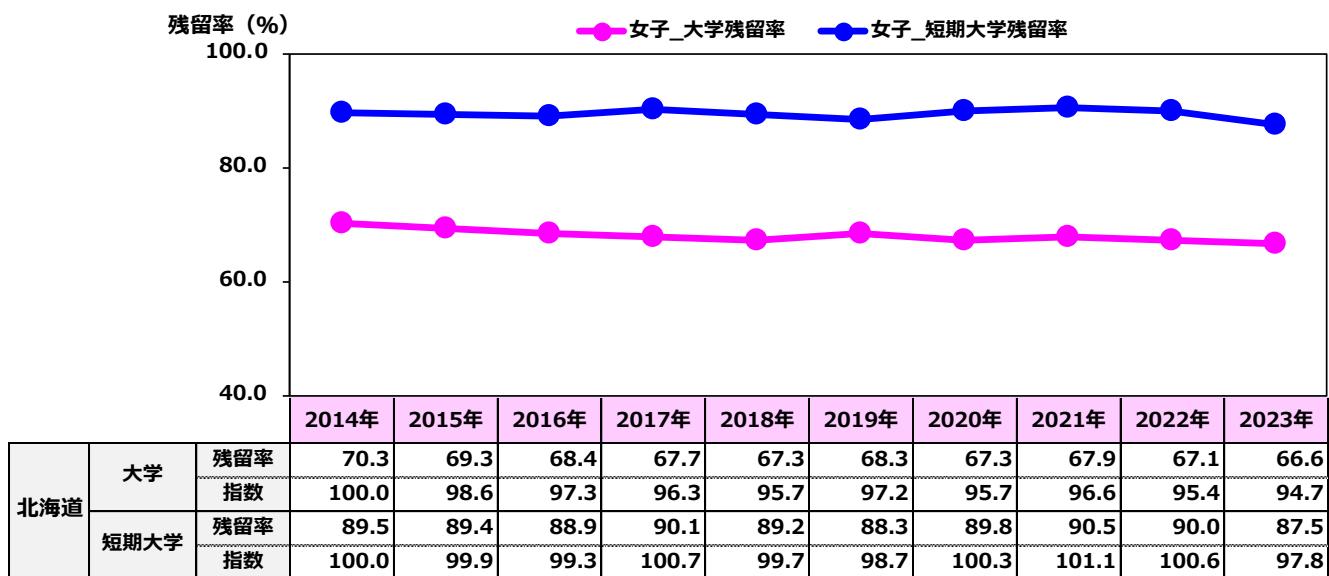
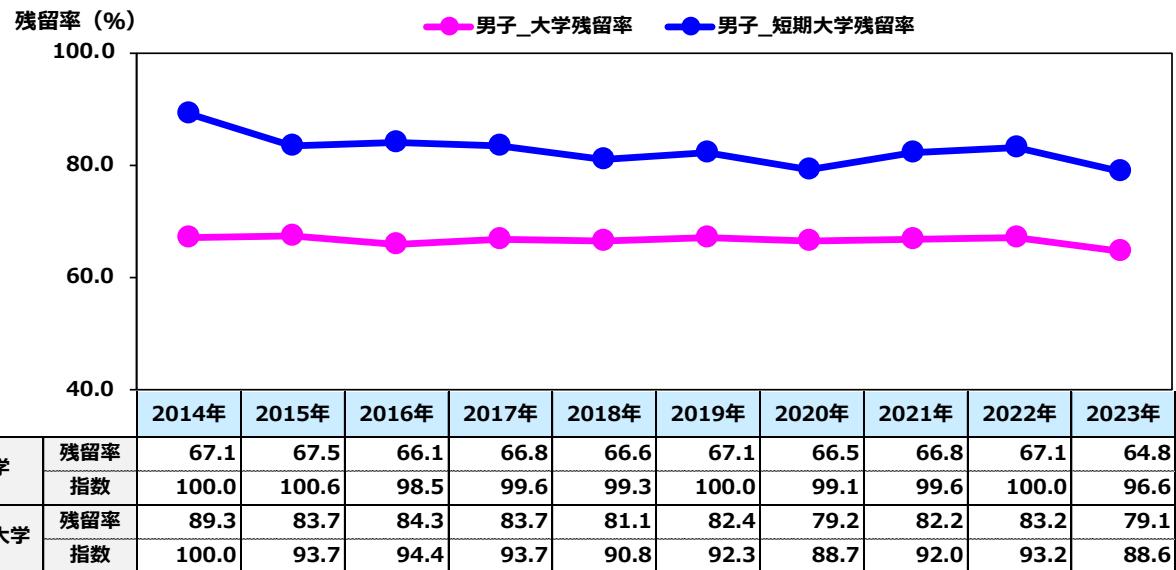
・残留率：地元（北海道）の大学・短期大学入学者数のうち地元（北海道）の高18出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移 (男子・女子: 北海道: 2014~2023年)

資料6

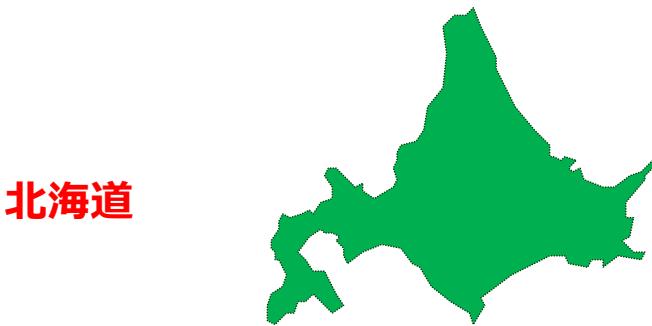
■男子では大学が、2014年67.1%→2023年64.8% (2.3ポイント低下)
短期大学は、2014年89.3%→2023年79.1% (10.2ポイント低下)

■女子では大学が、2014年70.3%→2023年66.6% (3.7ポイント低下)
短期大学は、2014年89.5%→2023年87.5% (2.0ポイント低下)



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・残留率：地元（北海道）の大学・短期大学入学者数のうち地元（北海道）の高19出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）



学校数

大学 : 37 (国立 7・公立 7・私立 23)

短期大学 : 14 (公立 1・私立 13)

専門学校 : 142 (国立 1・公立 16・私立 125)

卒業者数

2014年43,574人→2023年36,588人 (6,986人減少)

進学者数

大学 : 2014年15,480人→2023年17,603人 (2,123人増加)

短期大学 : 2014年 2,333人→2023年 1,187人 (1,146人減少)

専門学校 : 2014年10,385人→2023年 8,404人 (1,981人減少)

進学率（現役）

大学 : 2014年35.5%→2023年48.1% (12.6ポイント上昇)

短期大学 : 2014年 5.4%→2023年 3.2% (2.2ポイント低下)

専門学校 : 2014年23.8%→2023年23.0% (0.8ポイント低下)

残留率

大学 : 2014年68.4%→2023年65.6% (2.8ポイント低下)

短期大学 : 2014年89.5%→2023年86.5% (3.0ポイント低下)

入学者流入元

※地元は除く

大学 : 1位東京 (561人)、2位青森 (360人)、3位神奈川 (307人)

短期大学 : 1位東京 (40人)、2位千葉 (29人)、3位神奈川 (28人)

入学者流出先

※地元は除く

大学 : 1位東京 (2,298人)、2位神奈川 (687人)、3位大阪 (474人)

短期大学 : 1位東京 (53人)、2位大阪 (19人)、3位神奈川・兵庫 (17人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2023年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した人数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校 (※) に進学した人数
- ・進学率(現役) : 進学者数 (大学・短期大学・専門学校 (※)) ÷ 高等学校卒業者数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内 (地元) の大学・短期大学入学者数のうち自県内 (地元) の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合 (浪人含)
- ・流入 : 自県内 (地元) の大学・短期大学に入学したうち、自県以外 (地元以外) の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと (浪人含)
- ・流出 : 自県内 (地元) の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外 (地元以外) の大学・短期大学に入学したこと (浪人含)

※専門学校 = 専修学校専門課程

本学の真栄キャンパスマップ・月寒本キャンパスマップ



真栄キャンパス

札幌市清田区真栄 434-1

アンデルセン福祉村

交通アクセス

*地下鉄東豊線「福住」駅から

[路線バス]

中央バス有明線 福87「アンデルセン福祉村3丁目」バス停下車すぐ(約25分)

「スクールバス」2022年4月から運行中



月寒本キャンパス

札幌市豊平区月寒東3条11丁目

1番50号

交通アクセス

*地下鉄東西線「南郷13丁目」
駅から徒歩約13分

* 地下鉄東豊線「福住」駅から
徒歩約 13 分

*地下鉄東豊線「月寒中央」駅
から徒歩約15分

札幌中心部からも約25分で通うことができる

令和7年6月吉日

教職員の皆様

日本医療大学 事務局

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃より、貴校の皆様には大変お世話になっておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、日本医療大学では、令和8年(2026年)4月に、「心理」を中心に据えた人材育成の為に新たに
「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科」(仮称)を、併せて、医療機関等で組織の運営管理や
課題解決が出来る人材を育成のために新たに「医療DXマネジメント学科」(仮称)を別紙「設置計画に
係る概要」のとおり設置する予定です。

その準備の一環といたしまして、皆様のニーズにマッチングさせるためにアンケート調査を実施し、
より良い学部学科を創設したいと考えています。高校3年生生の皆様の率直な意見を頂戴し、
これから必要となる人材育成の参考にしたいと考えます。

つきましては、お忙しいところ大変申し訳ございませんが、本調査へのご協力を
お願い致します。

記

1. 調査期間及び回答方法

※6月20日(金)までに、高校3年生にリーフレットの配付や掲示等を行っていただき
「高校生用アンケート調査」について、QRコードを読み取ってご回答くださいますよう
お願ひいたします。

2. この件についてのお問い合わせ先

〒062-0053 札幌市豊平区月寒3条11丁目1番50号

日本医療大学事務局企画法務グループ

TEL 011-351-6100

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部DXマネジメント学科(仮称)」設置構想についての高校アンケート

日本医療大学では「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を2026年4月に設置構想中です。「リーフレット」をご覧の上、同学部同学科への受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケート調査およびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

1. ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

あなたが在籍している高校名をお答えください。(任意回答)

2. 問1 あなたの現在の居住地をお答えください。(あてはまるもの1つ)

1つだけマークしてください。

- 1. 札幌市
- 2. 石狩（除く札幌市）・空知・後志エリア
- 3. 胆振・日高エリア
- 4. 上川・留萌・宗谷エリア
- 5. 十勝・釧路・根室エリア
- 6. 北見・網走エリア
- 7. 東北エリア（青森・岩手・宮城・秋田・新潟・福島・山形）
- 8. 関東
- 9. その他

3。 問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つ)

1つだけマークしてください。

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 答えたくない

4。 ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。(あてはまるものすべて)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 大学
- 2. 短期大学
- 3. 専門職大学
- 4. 専門職短期大学
- 5. 専門学校
- 6. 就職
- 7. その他

5。 問4 問3で1~4を選択した方に質問です。

(それ以外の方は問5に進んでください)

志望する大学等、あてはまるものすべてを選択してください (複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 私立
- 2. 国立
- 3. 公立

6. 問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある以下の学問分野からあてはまるものを選択してください。

※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 文学・史学・哲学（外国語を含む）
- 2. 法学・政治（地域創生を含む）
- 3. 商学・経済・経営
- 4. 社会学（情報を含む）
- 5. 理学
- 6. 工学
- 7. 農学（畜産・水産を含む）
- 8. 医学・歯学・薬学
- 9. 看護学・保健医療関係
- 10. 家政学（生活科学を含む）
- 11. 教育学（体育・保育を含む）
- 12. 芸術学（音楽・美術を含む）
- 13. 国際関係学（観光学を含む）
- 14. その他

7. ここからは別添の日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」の「リーフレット」を見てからお答えください。

問6 日本医療大学設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

1つだけマークしてください。

- 1. 第一志望として受験する
- 2. 第二志望として受験する
- 3. 第三志望以降として受験する
- 4. 受験しない

8. 問7上記、問6「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」で
1～3を選択した方に質問です。

日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

1つだけマークしてください。

- 1. 入学する
- 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 3. 入学しない

9. 問8 日本医療大学が構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」には、以下のような特色があります。あなたが興味・関心を持った内容について教えてください。その際、あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. データサイエンスやビッグデータ分析を通して、医療現場での課題解決力の養成に力を入れていること
- 2. プログラミングやAI、ユニバーサルデザインなど幅広い分野を学ぶことができること
- 3. 問題解決型学習（PBL）など能動的に学修に参加できるアクティブラーニングが豊富であること
- 4. IT関連の資格や医療経営士など資格取得を目指すことができること
- 5. 情報リテラシーの基礎から専門的な医療DXや経営まで段階的にスキルアップできること
- 6. 電子カルテなど医療情報技術に特化し、卒業後に即戦力として活躍できること

10. 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

このコンテンツはGoogleが作成または承認したものではありません。

Google フォーム

-学生確保(資料)-26-



ヒューマンデザイン学部（仮称） 医療DXマネジメント学科（仮称）

医療の課題をデジタルで変える！
新時代のリーダーになろう

学科の概要

◆設置の理念

医療DXやAIなどの情報の専門知識・技能を用いて、医療機関など組織の運営管理、サービス開発を実践的に学び、地域づくりに貢献し、地域包括ケアを推進できる人材の養成を目的とする学科です。

- ◆ 開設時期：2026（令和8）年4月（予定）
- ◆ 修業年限：4年
- ◆ 入学定員：40名（学科収容定員：160名 予定）
- ◆ 取得学位：学士（福祉経営学）
- ◆ 養成する人材像：
 - ①医療機関など組織の運営管理や課題解決ができる人材
 - ②医療をはじめとするサービスの開発と維持ができる人材
 - ③地域社会の課題解決や地域づくりに貢献できる人材

医療DX（デジタルトランスフォーメーション）とは何か？



学科の特徴

総合的なIT教育

IT、情報セキュリティ、DXからAIの基礎・応用を包括的に学び、医療におけるデジタル技術を活用した仕事の最適化や意思決定支援のスキルを習得します。

プロジェクトマネジメントの実践

講義や演習を通じて、プロジェクトマネジメントや経営の知識を深め、現場での問題解決能力を養います。医療DX推進の企画・運営・評価を実践的に学び、即戦力として活躍できる人材を育成します。

少子高齢化への対応

少子化により生産年齢人口の減少を見据えた医療改革をリードするため、医療DXを活用した業務効率化や医療・患者ケアの質向上を目指します。

アドミッションポリシー

- マネジメントに関する専門的知識を習得出来る基礎学力を持つ人
- 情報技術とマネジメントについて実践的な知識と技術を学びたい人
- 組織のマネジメントについて論理立てて考える力がある人
- 新しいサービスやビジネスの企画に取り組む意欲のある人
- 地域共生社会の実現に貢献するため、多様な人々とコミュニケーションが図れる人

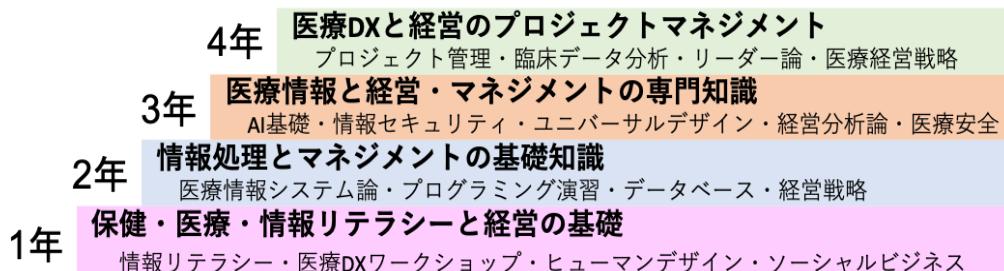
学納金

資料10

◆ 入学金 (初年度)	300,000円
◆ 授業料 (年額)	1,200,000円
◆ 施設費等 (年額)	100,000円
◆ 初年度納入金	1,600,000円
◆ 2年次以降 (年額)	1,400,000円

系統立てたカリキュラム ~ 情報の基礎から応用へ ~

- 段階的なスキルアップ：情報リテラシーの基礎を身につけ、さらに専門知識を深めるように構成しています。
- 医療情報に特化：電子カルテなど医療現場で不可欠な情報技術に焦点をあて、卒業後に即戦力として活躍できる専門性を養います。
- 幅広い分野を網羅：プログラミングやAI、ユニバーサルデザイン（UD）&アクセシビリティ、行政システムなど、幅広い分野を学ぶことができ、変化の激しい医療IT業界で柔軟に対応できる人材を育成します。
- 実践的な学び：医療システムなど具体的な事例を通して、理論だけでなく実践的なスキルも身につけることができ、データサイエンスやビッグデータ分析を通して、医療現場での課題解決に貢献できる能力を養います。
- 最新技術への対応：人工知能やビッグデータなど、医療分野の最新技術を学ぶことで、将来の医療を担う人材を育成します。



資格取得

- ITパスポート（国家資格）：ITに関する基礎的な知識を証明する資格
- 基本情報技術者（国家資格）：ITエンジニアとしての実践的な活用能力を証明する資格
- 情報セキュリティマネジメント（国家資格）：情報セキュリティの対策やマネジメントの能力を証明する資格
- 医療情報技師（学会認定）：医学医療・情報処理技術・病院情報システムの分野の知識を証明する資格
- 医療経営士（協会認定）：医療機関をマネジメントする上で必要な医療や経営に関する知識・能力を有する人材を育成する資格

進路

- 医療機関：病院情報システムの企画・導入・保守などを行う医療情報部門。医療情報を基に経営分析して企画を行う経営企画部門。大学病院や研究施設での研究支援部門など
- 企業：医療系のシステムエンジニア、システムインテグレータ、プログラマーなどの開発部門
- 行政：医療DX推進に関わる行政などの医療政策部門

競合する大学（学部学科）

北海道科学大学（情報科学部情報科学科）
北海情報大学（医療情報学部医療情報学科）
東北福祉大学（健康科学部医療経営管理学科）

月寒本キャンパスは札幌市営地下鉄「東西線」と「東豊線」の2路線の沿線に位置し、「南郷13丁目駅」「月寒中央駅」「福住駅」の3駅を利用することができます。いずれの駅からも徒歩約10~15分の好アクセスな環境にあり、札幌市中心部からも約25分で通うことができます。



		実数	割合	
問 1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）。	1 札幌市	1,532	37.2%	
	2 石狩（除く札幌市）・空知・後志エリア	429	10.4%	
	3 胆振・日高エリア	310	7.5%	
	4 上川・留萌・宗谷エリア	643	15.6%	
	5 十勝・釧路・根室エリア	245	6.0%	
	6 北見・網走エリア	107	2.6%	
	7 東北エリア（青森・岩手・宮城・秋田・新潟・福島・山形）	261	6.3%	
	8 関東	11	0.3%	
	9 その他	520	12.6%	
	未回答	56	1.4%	
	合計	4,114	100.0%	

		実数	割合	
問 2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）	1 男性	1,863	45.3%	
	2 女性	2,062	50.1%	
	3 答えたたくない	139	3.4%	
	未回答	50	1.2%	
	合計	4,114	100.0%	

			実数	割合	
◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。 問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）	1 大学		2,338	51.3%	
	2 短期大学		178	3.9%	
	3 専門職大学		71	1.6%	
	4 専門職短期大学		22	0.5%	
	5 専門学校		1,228	26.9%	
	6 就職		620	13.6%	
	7 その他		69	1.5%	
	未回答		34	0.7%	
	合計		4,560	100.0%	

			実数	割合	
問4 問3で1～4を選択した方に質問です。 (それ以外の方は問5に進んでください) 志望する大学等、あてはまるものすべてを選択してください（複数回答可）	1 私立		1,960	59.6%	
	2 国立		666	20.3%	
	3 公立		628	19.1%	
	4 未回答		33	1.0%	
	合計		3,287	100.0%	

			実数	割合	
問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある以下の学問分野からあてはまるものを選択してください。 ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。	1	文学・史学・哲学（外国語を含む）	532	9.1%	
	2	法学・政治（地域創生を含む）	401	6.8%	
	3	商学・経済・経営	830	14.2%	
	4	社会学（情報を含む）	250	4.3%	
	5	理学	223	3.8%	
	6	工学	338	5.8%	
	7	農学（畜産・水産を含む）	139	2.4%	
	8	医学・歯学・薬学	375	6.4%	
	9	看護学・保健医療関係	686	11.7%	
	10	家政学（生活科学を含む）	106	1.8%	
	11	教育学（体育・保育を含む）	539	9.2%	
	12	芸術学（音楽・美術を含む）	398	6.8%	
	13	国際関係学（観光学を含む）	216	3.7%	
	14	その他	661	11.3%	
		未回答	169	2.9%	
		合計	5,863	100.0%	

			実数	割合	
ここからは別添の日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学					

部医療DXマネジメント学科(仮称)」の「リーフレット」を見てからお答えください。

問6 日本医療大学設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。
※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

	1 第一志望として受験する	73	1.8%	
	2 第二志望として受験する	71	1.7%	
	3 第三志望以降として受験する	110	2.7%	
	4 受験しない	3,742	91.0%	
	5 未回答	118	2.9%	
	合計	4,114	100.0%	

問7 上記、問6「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」で1～3を選択した方に質問です。

日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

		実数	割合	
	1 入学する	87	34.3%	
	2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	151	59.5%	
	3 入学しない	15	5.9%	
	4 未回答	1	0.4%	
	合計	254	100.0%	

		実数	割合	
	1 1. データサイエンスやビッグデータ分析を通して、医療現場での	747	13.1%	

問8 日本医療大学が構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」には、以下ののような特色があります。あなたが興味・関心を持った内容について教えてください。その際、あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

	2. プログラミングやAI、ユニバーサルデザインなど幅広い分野を	1,283	22.5%	
3	3. 問題解決型学習(PBL)など能動的に学修に参加できるアクティブラーニングが豊富であること	336	5.9%	
4	4. IT関連の資格や医療経営士など資格取得を目指すことができる	828	14.5%	
5	5. 情報リテラシーの基礎から専門的な医療DXや経営まで段階的に	561	9.8%	
6	6. 電子カルテなど医療情報技術に特化し、卒業後に即戦力として	925	16.2%	
	未回答	1,019	17.9%	
	合計	5,699	100.0%	

	問7上記、問6「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」で1～3を選択した方に質問です。 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。				
問6 日本医療大学設置構想中の 「ヒューマンデザイン学部医療DXマ ネジメント学科(仮称)」が開設された 場合、受験を希望しますか。次より1 つ選択してください。		1. 入学する	2. 志望順位が上位 の他の志望校が不 合 格 の場 合 に 入 学 す る	3. 入学しない	合計
	1. 第一志望として受験する	70	1	2	73
	2. 第二志望として受験する	13	55	3	71
	3. 第三志望以降として受験する	4	95	10	109
	4. 受験しない	2	61	1,715	1,778
	合計	89	212	1,730	2,031

※Q6・Q7にデータ欠損（未回答）があるデータを除いている

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部・共生社会デザイン学科(仮称)」設置構想についての高校アンケート

日本医療大学では令和8年4月に「心理」の人材育成のために新たに「共生社会デザイン学科」を設置する予定です。別紙リーフレットをご覧の上、同学部同学科への受験・入学意向に関する調査にご協力ををお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケート調査への回答は1回のみとなります。本アンケート調査と同一内容の日本医療大学が実施したアンケートに過去に回答した方は回答できません。

※本アンケート調査およびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

1. 最初にあなた自身についてお聞きします。

あなたが在籍している高校名をお答えください(任意回答)。

回答を入力

2. 問1 あなたの現在の居住地をお答えください (あてはまるもの1つ)。

その他

1つだけマークしてください。

- 札幌市
- 石狩(札幌市を除く)・空知・後志エリア
- 胆振・日高エリア
- 上川・留萌・宗谷エリア
- 十勝・釧路・根室エリア
- 北見・網走エリア
- 東北エリア(青森・秋田・宮城・山形・岩手・宮城)・新潟
- 関東
- その他

3. 問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つ)

1つだけマークしてください。

- 男性
- 女性
- 回答しない

4. ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか(あてはまるものすべて)。

1つだけマークしてください。

- ①4年制大学
- ②短期大学
- ③専門職大学
- ④専門職短期大学
- ⑤専門学校
- ⑥その他
- ⑦就職

5. 問4 問3で①～④を選択した方に質問です(※問4で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)。

志望する大学等の設置者の希望を選択してください(あてはまるものすべて)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 私立
- 国立
- 公立
- その他

6. 問5 高校を卒業後、学びたいもしくは興味のある学問分野について、以下からあてはまるものすべてを選択してください。

※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 文学・史学・哲学（外国語を含む）
- 法学・政治（地域創生を含む）
- 商学・経済・経営
- 社会学（心理を含む）
- 理学
- 工学
- 農学（畜産・水産を含む）
- 医学・歯学・薬学
- 看護学・保健医療関係
- 家政学（生活科学を含む）
- 教育学（体育・保育を含む）
- 芸術学（音楽・美術を含む）
- 國際関係学（観光学を含む）
- その他

7. ここからは別添の日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」の「リーフレット」を見てからお答えください。

問6 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科（仮称）」では、1年次で基礎知識学んだうえで、2年次から6つのコースから1つのコースを選択し、専門性を高めます。現時点で最も興味のあるコースについて、1つ選択してください(内容はパンフレットをご覧ください)。

1つだけマークしてください。

- 心理臨床コース
- 認定心理士コース
- 公務員コース
- メンタルヘルス・デザインコース
- ソーシャルワークコース
- こども・家庭支援コース

8. **問7 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」では以下の資格・免許の養成を行う予定です。このなかで興味があるものをすべて選択してください。**

当てはまるものをすべて選択してください。

- 公認心理師(国家資格) ※大学院への進学や実務経験が必要です。
- 認定心理士(民間資格)
- 准学校心理士(民間資格)
- 精神保健福祉士(国家資格)
- 社会福祉士(国家資格)
- スクールソーシャルワーカー(民間資格)

9. **問8 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。**

1つだけマークしてください。

- ①第一志望として受験する
- ②第二志望として受験する
- ③第三志望として受験する
- ④受験しない

10. **問9 問8で①～③を選択した方に質問です。**

日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。以下より1つ選択してください。

1つだけマークしてください。

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない



医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学

心

理

×

共生社会会

「心理」を学び共生社会の実現を目指す

医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学で学ぶ「心理学」

2026年4月開設予定

ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

仮称・設置構想中

日本医療大学月寒本キャンパスに「心理」系学科が誕生します

学位:学士(社会福祉学)

修業年限:4年

入学定員:80人

(収容定員320人)

(設置構想中)

医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学
(月寒本キャンパス)



設置の理念・養成する人材像

「心理」の視点を中心に据え、社会学・精神保健福祉学・社会福祉学を基盤に、共生社会のあり様やデザインを多角的に思慮しながら、支援を必要とする人々へ「包括的・重層的な支援」を提供できる人材養成を目的とします。

現代の多様化・複雑化する人々の支援ニーズに対応するため、公認心理師・認定心理士・社会福祉士・精神保健福祉士等の養成を行います。

学納金(変更になることがあります)

入学金(初年度)	300,000円
授業料(年額)	800,000円
施設費等(年額)	100,000円
初年度納入金	1,200,000円
2年次以降(年額)	1,200,000円

競合する大学等

札幌学院大学	心理学部臨床心理学科
北星学園大学	社会福祉学部心理学科
北星学園大学	社会福祉学部社会福祉学科
北海道医療大学	心理科学部臨床心理学科
北翔大学	教育文化学部心理カウンセリング学科

高校生の皆様へのアンケートはこちら

回答は3分程度です



医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学

多様な学びの創造する6つのコース

(内容は変更になることがあります)

1. 心理臨床コース

⇒公認心理師科目を履修し、心理専門職を目指します。

2. 認定心理士コース

⇒心理に関する基礎知識と基礎技術の習得を目指します。

3. 公務員コース

⇒児童相談所、役所等の心理・福祉系公務員を目指します。

4. メンタルヘルスデザインコース

⇒精神保健福祉士の資格を取得し、メンタルヘルス上の課題を抱える人への支援に携わるソーシャルワーカーを目指します。

5. ソーシャルワークコース

⇒社会福祉士の資格を取得し、医療機関や高齢・障害福祉領域、社会福祉協議会等のソーシャルワーカーを目指します。

6. こども・家庭支援コース

⇒子どもと家庭の支援を基盤に、予防的視点を持って支援を構築できる心理専門職・ソーシャルワーカーを目指します。

アドミッションポリシー (入学者受入方針)

1. 保健・医療・福祉に関わる専門的知識を学べる基礎学力を有する人
2. 差別や偏見をなくし、共生社会の実現のために貢献したいと思う人
3. 自立困難な人や生活のしづらさを抱えている人の人生を豊かにできる人
4. 社会福祉施設や医療機関等の組織のマネジメントや支援システムの運営管理に关心のある人
5. サービスの開発・企画や地域の課題解決を考える力がある人

月寒本キャンパスは札幌市営地下鉄「東西線」と「東豊線」の2路線の沿線に位置し、「南郷13丁目駅」「月寒中央駅」「福住駅」の3駅を利用することができます。いずれの駅からも徒歩約10~15分の好アクセスな環境にあり、札幌市中心部からも約25分で通うことができます。



札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号

交通アクセス
 • 地下鉄東西線「南郷13丁目」駅から徒歩約10分
 • 地下鉄東豊線「福住」駅から徒歩約13分
 • 地下鉄東豊線「月寒中央」駅から徒歩約15分

問1 あなたの現在の居住地をお答えください（あてはまるもの1つ）。			実数	割合	
	1 札幌市		1,854	38.6%	
	2 石狩（除く札幌市）・空知・後志エリア		449	9.4%	
	3 胆振・日高エリア		320	6.7%	
	4 上川・留萌・宗谷エリア		716	14.9%	
	5 十勝・釧路・根室エリア		271	5.6%	
	6 北見・網走エリア		201	4.2%	
	7 東北エリア（青森・岩手・宮城・秋田・新潟・福島・山形）		286	6.0%	
	8 関東		14	0.3%	
	9 その他		619	12.9%	
	未回答		70	1.5%	
	合計		4,800	100.0%	

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）			実数	割合	
	1 男性		2,272	47.3%	
	2 女性		2,321	48.4%	
	3 答えたたくない		142	3.0%	
	未回答		65	1.4%	
	合計		4,800	100.0%	

			実数	割合	
◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。 問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。(あてはまるものすべて)	1 大学		2,642	55.0%	
	2 短期大学		103	2.1%	
	3 専門職大学		48	1.0%	
	4 専門職短期大学		8	0.2%	
	5 専門学校		1,226	25.5%	
	6 その他		74	1.5%	
	7 就職		648	13.5%	
	未回答		51	1.1%	
	合計		4,800	100.0%	

			実数	割合	
問4 問3で1～4を選択した方に質問です。 (それ以外の方は問5に進んでください) 志望する大学等、あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)	1 私立		1,960	59.6%	
	2 国立		666	20.3%	
	3 公立		628	19.1%	
	4 未回答		33	1.0%	
	合計		3,287	100.0%	

		実数	割合	
問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある以下の学問分野からあてはまるものを選択してください。 ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。	1 文学・史学・哲学（外国語を含む）	626	8.9%	
	2 法学・政治（地域創生を含む）	463	6.6%	
	3 商学・経済・経営	983	14.0%	
	4 社会学（情報を含む）	428	6.1%	
	5 理学	278	4.0%	
	6 工学	422	6.0%	
	7 農学（畜産・水産を含む）	177	2.5%	
	8 医学・歯学・薬学	421	6.0%	
	9 看護学・保健医療関係	779	11.1%	
	10 家政学（生活科学を含む）	103	1.5%	
	11 教育学（体育・保育を含む）	650	9.3%	
	12 芸術学（音楽・美術を含む）	507	7.2%	
	13 國際関係学（観光学を含む）	266	3.8%	
	14 その他	776	11.0%	
	未回答	144	2.1%	
	合計	7,023	100.0%	

		実数	割合	
ここからは別添の日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」の	1 心理臨床コース	1,171	24.4%	

「リーフレット」を見てからお答えください。

問6 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」では、1年次で基礎知識学んだうえで、2年次から6つのコースから1つのコースを選択し、専門性を高めます。現時点で最も興味のあるコースについて、1つ選択してください(内容はパンフレットをご覧ください)。

※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

	2 公務員コース	1,107	23.1%	
	3 メンタルヘルス・デザインコース	604	12.6%	
	4 ソーシャルワークコース	265	5.5%	
	5 こども・家庭支援コース	660	13.8%	
	6 認定心理コース	468	9.8%	
	未回答	525	10.9%	
	合計	4,800	100.0%	

問7 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」では以下の資格・免許の養成を行う予定です。このなかで興味があるものをすべて選択してください。

		実数	割合	
	1 公認心理師(国家資格)	1,436	22.7%	
	2 認定心理士(民間資格)	1,064	16.8%	
	3 准学校心理士(民間資格)	260	4.1%	
	4 精神保健福祉士(国家資格)	1,134	18.0%	
	5 社会福祉士(国家資格)	1,115	17.7%	
	6 スクールソーシャルワーカー(民間資格)	576	9.1%	
	未回答	732	11.6%	
	合計	6,317	100.0%	

		実数	割合	

問8 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

	1 第一志望として受験する	114	2.4%	
	2 第二志望として受験する	92	1.9%	
	3 第三志望以降として受験する	310	6.5%	
	4 受験しない	4,085	85.1%	
	5 未回答	199	4.1%	
	合計	4,800	100.0%	

問9 問8で①～④を選択した方に質問です。
日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。以下より1つ選択してください。

		実数	割合	
	1 入学する	142	27.5%	
	2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	359	69.6%	
	3 入学しない	13	2.5%	
	4 未回答	2	0.4%	
	合計	516	100.0%	

	問9 問8で①～③を選択した方に質問です。 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。以下より1つ選択してください。				
問8 日本医療大学が設置構想中の 「ヒューマンデザイン学部共生社会デ ザイン学科(仮称)」が開設された場 合、受験を希望しますか。次より1つ 選択してください。		1. 入学する	2. 志望順位が上位 の他の志望校が不格 の場合に入学する	3. 入学しない	合計
	1. 第一志望として受験する	112	2	0	114
	2. 第二志望として受験する	17	71	4	92
	3. 第三志望以降として受験する	13	286	9	308
	4. 受験しない	13	41	1,848	1,902
	合計	155	400	1,861	2,416

※Q8・Q9にデータ欠損（未回答）があるデータを除いている

令和7年5月吉日

人事ご担当者様

日本医療大学 事務局

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃より、貴事業所の皆様には大変お世話になっておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、日本医療大学では、令和8年(2026年)4月に、「心理」を中心に据えた人材育成の為に新たに
「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科」(仮称)を、併せて、医療機関等で組織の運営管理や
課題解決が出来る人材を育成のために新たに「医療DXマネジメント学科」(仮称)を別紙「設置計画に
係る概要」のとおり設置する予定です。

その準備の一環といたしまして、皆様のニーズ等を把握いたしたく、別紙「事業所の採用意向について
のアンケート調査」を実施させていただき、皆様のご期待に沿える新学科の設置に繋げて参りたいと考え
ております。

つきましては、別紙「事業所の採用意向についてのアンケート調査」(アンケートは2種類です)
について、QRコードを読み取っていただくか下記のURLからご回答をお願い申し上げます。
(回答は3分程度です)

共生社会デザイン学科用 ⇒ <https://forms.gle/yvvvYfgKYMbESTb69>

医療DXマネジメント学科用 ⇒ <https://qr.paps.jp/fVDQq>

記

ご回答期間・及び返答方法

※6月12日(金)までに、アンケートサイトよりご回答願います。
よろしくお願いいたします。

この件についてのお問い合わせ先

〒062-0053 札幌市豊平区月寒3条11丁目1番50号

日本医療大学事務局企画法務グループ

TEL 011-351-6100

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科」設置構想に についての人材需要アンケート

日本医療大学は、2026年4月に「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を新設することを構想しています。本学は、このアンケート調査を通して将来卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、回答結果は日本医療大学の新学部設置構想に係る統計資料としてのみ活用します。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人・企業が識別できる情報として公表されることはありません。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

※このアンケート調査および学部・学科概要資料に記載されている事項は予定であり、内容が変更になる可能性があります。

1. 問1. 貴事業所の主たる種別を、次の中から1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 1. 病院・クリニック
- 2. 福祉施設
- 3. 介護事業
- 4. 保健所・保健センター
- 5. 教育機関
- 6. 地方自治体
- 7. 企業
- 8. その他

2。 問2．貴事業所の主たる所在地を、次の中から1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 1. 札幌市
- 2. 石狩(除く札幌市)・空知・後志エリア
- 3. 胆振・日高エリア
- 4. 上川・留萌・宗谷エリア
- 5. 十勝・釧路・根室エリア
- 6. 北見・網走エリア
- 7. 東北エリア(青森・岩手・宮城・秋田・新潟・福島・山形)
- 8. 関東
- 9. その他

3。 問3．貴社・貴団体の従業員（正規職員）規模として、最もあてはまるものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 1. 30人未満
- 2. 30～49人
- 3. 50～99人
- 4. 100～299人
- 5. 300～499人
- 6. 500～999人
- 7. 1,000人以上

4. 問4以降は別紙「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)のリーフレット」をご参照の上、ご回答ください。

問4. 医療DXマネジメント学科(仮称)には、以下のような特色があります。興味・関心を持った内容について教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください。)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. データサイエンスやビッグデータ分析を通して、医療現場での課題解決に貢献できる能力の養成に力を入れていること
- 2. プログラミングやAI、ユニバーサルデザインとアクセシビリティ、行政システムなど幅広い分野を網羅的に学ぶことができる
- 3. 電子カルテなど医療情報技術に特化し、卒業後に即戦力として活躍できる人材の育成に力を入れていること
- 4. 問題解決型学習（PBL）による、実践的で能動的なアクティブラーニングの教育方法が豊富であること
- 5. IT関連の資格や医療経営士など経営の資格の取得を目指すことができること

5. 問5. 日本医療大学が2026年に設置構想中の「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。以下の問い合わせより1つ選択してください。

1つだけマークしてください。

- 1. ニーズは高い
- 2. ニーズはある程度高い
- 3. ニーズはあまり高くない
- 4. ニーズは高くない
- 5. わからない

6. 問6. 日本医療大学「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を卒業した学生を採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つ)

1つだけマークしてください。

- 1. 採用したい
- 2. 採用しない
- 3. わからない

7. 問7. 問6で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか。(あてはまるもの1つ)

1つだけマークしてください。

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人
- 5. 5人以上
- 6. 人数は未定

8. 問8. リーフレット中に記載の問題解決型授業（課題提供、学生らとの共同ワーク、現場見学受入れ、企業インターンシップ（有給））のいずれかまたは組み合わせで、本学科との連携にご興味がありますでしょうか。

1つだけマークしてください。

- 1. ある
- 2. ない

9. 問9. 問8で「ある」とされた場合、より具体的なご説明・ご相談をさせていただける場合は貴社名・ご担当者様・氏名・お電話番号をご記入いただければ幸いです。

10. 問10. 日本医療大学「医療DXマネジメント学科(仮称)」について、期待する点やご要望などがありましたら、ご自由に回答ください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科」設置構想についての 人材需要アンケート

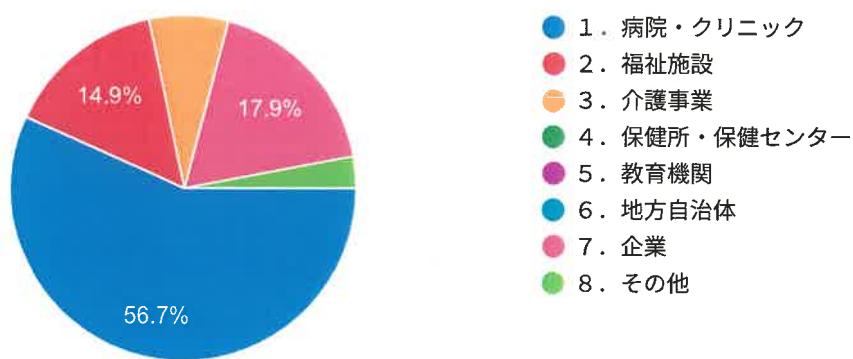
67 件の回答

[分析を公開](#)

コピー

問1. 貴事業所の主たる種別を、次の中から1つお選びください。

67 件の回答



コピー

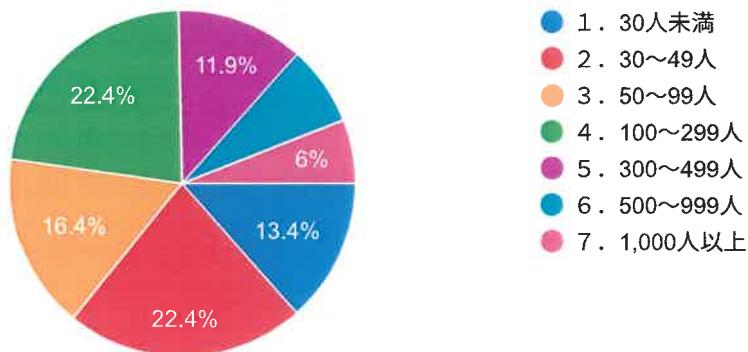
問2. 貴事業所の主たる所在地を、次の中から1つお選びください。

67 件の回答



問3. 貴社・貴団体の従業員（正規職員）規模として、最もあてはまるものを1つお選びください。

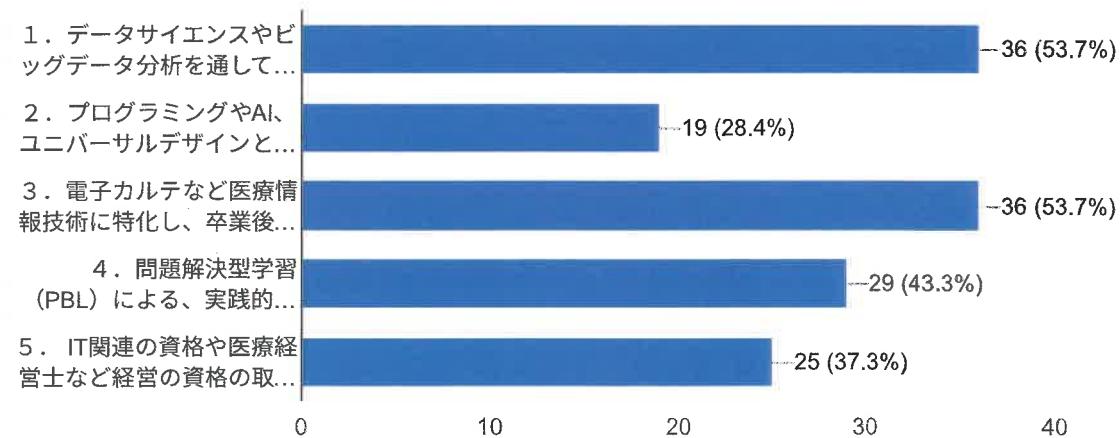
67件の回答



問4以降は別紙「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)のリーフレット」をご参照の上、ご回答ください。

問4. 医療DXマネジメント学科(仮称)には、以下のような特色があります。興味・関心を持った内容について教えてください。（あてはまるものすべてを選択してください。）

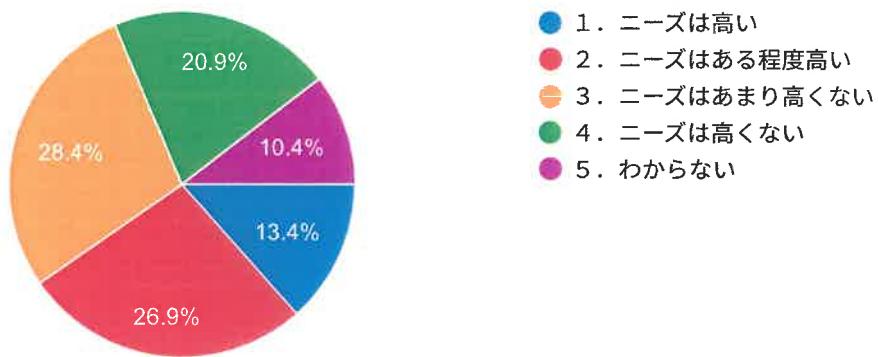
67件の回答





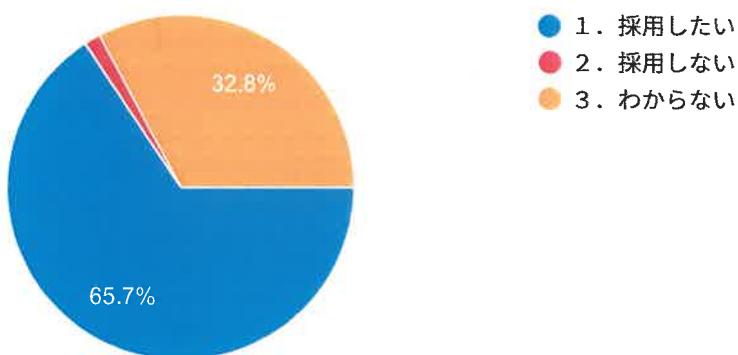
問5. 日本医療大学が2026年に設置構想中の「ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。以下の問い合わせより1つ選択してください。

67件の回答



問6. 日本医療大学「ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科(仮称)」を卒業した学生を採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つ)

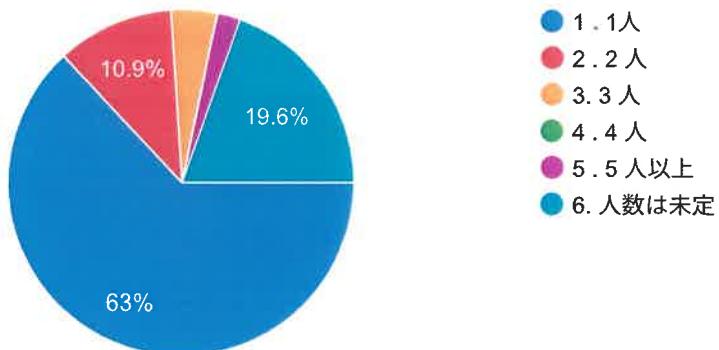
67件の回答





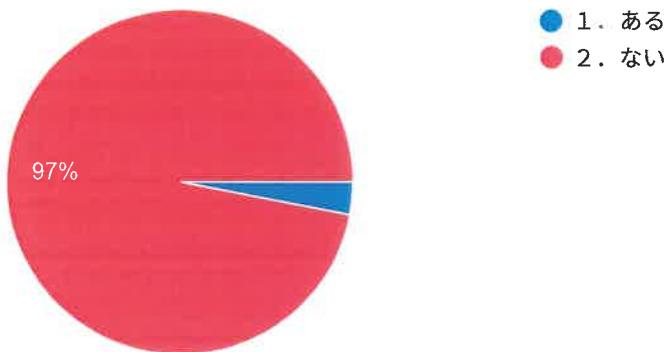
問7. 問6で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか。(あてはまるもの1つ)

46件の回答



問8. リーフレット中に記載の問題解決型授業（課題提供、学生らとの共同ワーク、現場見学受入れ、企業インターンシップ（有給））のいずれかまたは組み合わせで、本学科との連携にご興味がありますでしょうか。

66件の回答



問9. 問8で「ある」とされた場合、より具体的なご説明・ご相談をさせていただける場合は貴社名・ご担当者様・氏名・お電話番号をご記入いただければ幸いです。

1件の回答

三井ヘルスサービス株式会社
藤田
0118144016



問10. 日本医療大学「医療DXマネジメント学科(仮称)」について、期待する点やご要望などがありましたら、ご自由に回答ください。

2 件の回答

現在の従業員の中でこのような技術を持った人が居た場合重宝されるが、新卒でこれに長けて、特化していますとなった場合に、採用するかは疑問。+αの能力としては多いに期待

PCのスキルが高い人材は貴重と思われます。あとは分析したデータが何を意味しているのか、何をどうしたら病院にとってどうなる。までの課題を考えるところまでできればよいと思います。MOSもあるとよりよいです。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。- [フォームのオーナーに問い合わせる](#) - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部・共生社会デザイン学科(仮称)」設置構想についての事業所アンケート

日本医療大学では令和8年4月に「心理」の人材育成のために新たに「共生社会デザイン学科」を設置する予定です。本学は、このアンケート調査を通して将来卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、回答結果は日本医療大学の新学部設置構想に係る統計資料としてのみ活用します。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人・企業が識別できる情報として公表されることはありません。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

1. 問1 貴事業所の主たる種別を、次のなかから1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 病院・クリニック
- 福祉施設
- 介護事業
- 保健所・保健センター
- 教育機関
- 地方自治体
- 企業

2. 問2 貴事業所の主たる所在地を、次の中から1つお選びください。

資料18

1つだけマークしてください。

- 札幌市
- 石狩(除く札幌市)・空知・後志エリア
- 胆振・日高エリア
- 上川・留萌・宗谷エリア
- 十勝・釧路・根室エリア
- 北見・網走エリア
- 東北エリア(青森・岩手・宮城・秋田・福島・山形)・新潟
- 関東
- その他

3. 問3 貴社・貴団体の従業員（正規職員）規模として、最もあてはまるものを1つお選びください。

1つだけマークしてください。

- 30人未満
- 30～49人
- 50～99人
- 100～299人
- 300～499人
- 500～999人
- 1000人～

4. 問4以降は別紙「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)のリ^{資料18}フレット」をご参照の上、ご回答ください。

問4 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科（仮称）」では、1年次で基礎知識学んだうえで、2年次から6つのコースから1つのコースを選択し、専門性を高めます。現時点で最も興味のあるコースについて、1つ選択してください(内容はパンフレットをご覧ください)。

1つだけマークしてください。

- 心理臨床コース
- 認定心理士コース
- 公務員コース
- メンタルヘルス・デザインコース
- ソーシャルワークコース
- こども・家庭支援コース

5. 問5 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科（仮称）」では以下の資格・免許の養成を行う予定です。このなかで、貴事業所で採用する可能性のあるものすべて選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 公認心理師(国家資格) ※大学院への進学や実務経験が必要です。
- 認定心理士(民間資格)
- 准学校心理士(民間資格)
- 精神保健福祉士(国家資格)
- 社会福祉士(国家資格)
- スクールソーシャルワーカー(民間資格)

6. **問6 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。1つ選択してください。**

1つだけマークしてください。

- ニーズは高い
- ニーズはある程度高い
- ニーズはあまり高くない
- ニーズは高くない
- わからない

7. **問7. 日本医療大学「ヒューマンデザイン学部医療共生社会デザイン学科(仮称)」を卒業した学生を採用したいと思いますか。**

1つだけマークしてください。

- 採用したい
- 採用しない
- わからない

8. **問8 問7で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか。(あてはまるもの1つ)**

1つだけマークしてください。

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 未定

9. **問9. 日本医療大学共生社会デザイン学科(仮称)について、期待する点やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。**

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

日本医療大学「ヒューマンデザイン学部・共生社会デザイン学科(仮称)」設置構想についての事業所アンケート

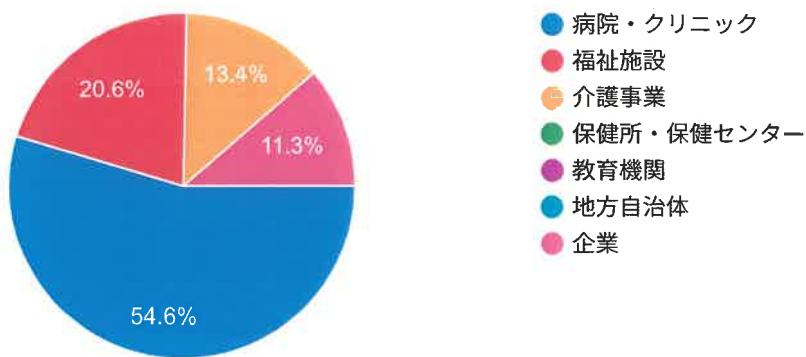
97 件の回答

[分析を公開](#)

コピー

問1 貴事業所の主たる種別を、次の中から1つお選びください。

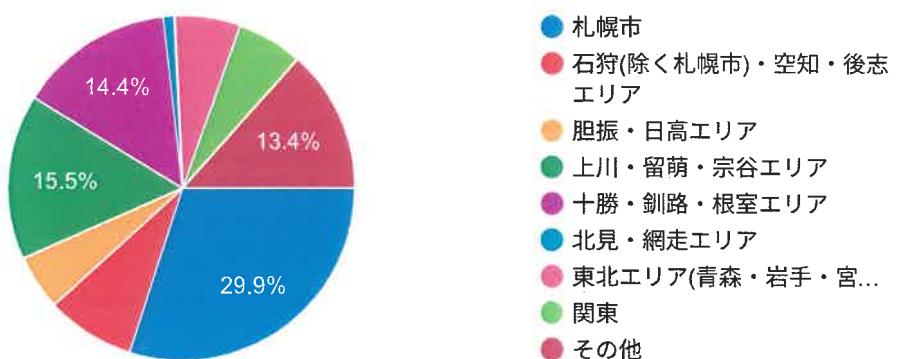
97 件の回答



コピー

問2 貴事業所の主たる所在地を、次の中から1つお選びください。

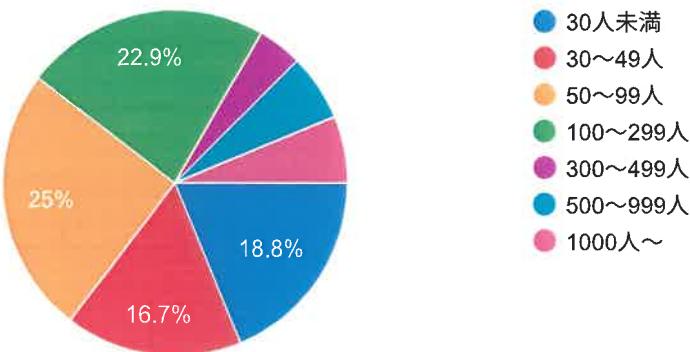
97 件の回答



コピー

問3 貴社・貴団体の従業員（正規職員）規模として、最もあてはまるものを1つお選びください。

96 件の回答

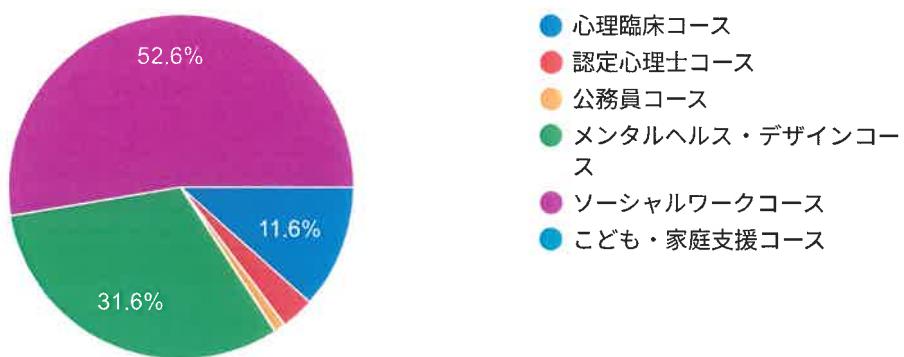


問4 以降は別紙「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)のリーフレット」をご参照の上、ご回答ください。

コピー

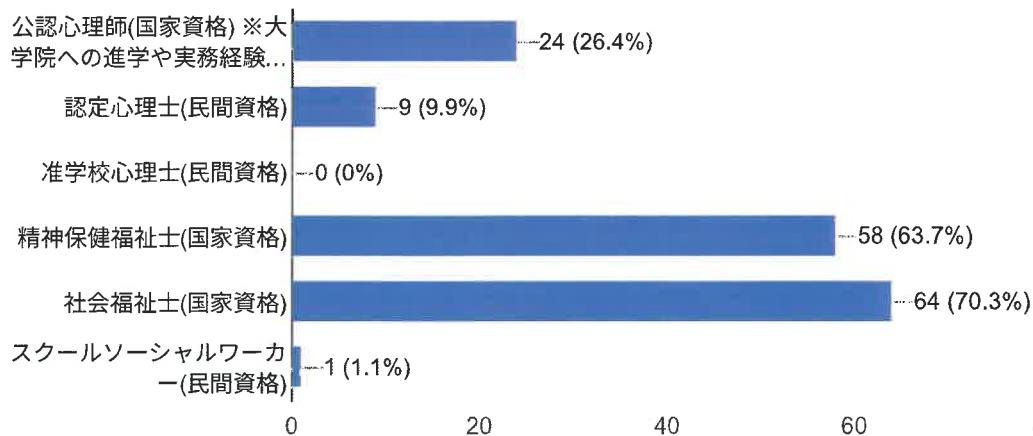
問4 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科（仮称）」では、1年次で基礎知識学んだうえで、2年次から6つのコースから1つのコースを選択し、専門性を高めます。現時点でも最も興味のあるコースについて、1つ選択してください(内容はパンフレットをご覧ください)。

95 件の回答



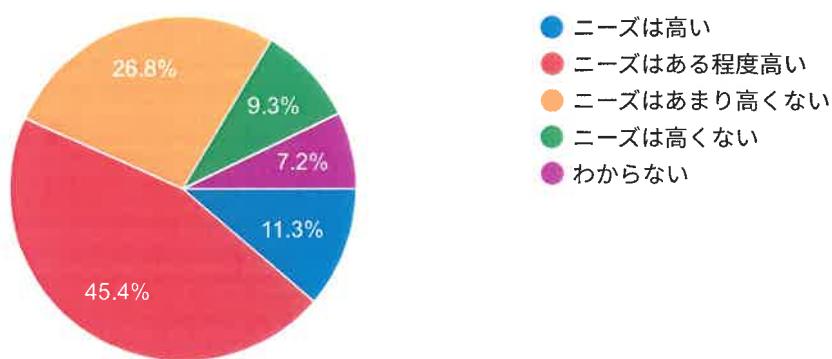
問5 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」では以下の資格・免許の養成を行う予定です。このなかで、貴事業所で採用する可能性のあるものすべてを選択してください。

91 件の回答



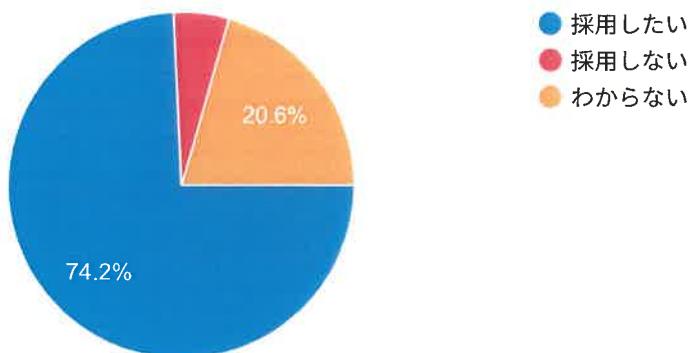
問6 日本医療大学が設置構想中の「ヒューマンデザイン学部共生社会デザイン学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。1つ選択してください。

97 件の回答



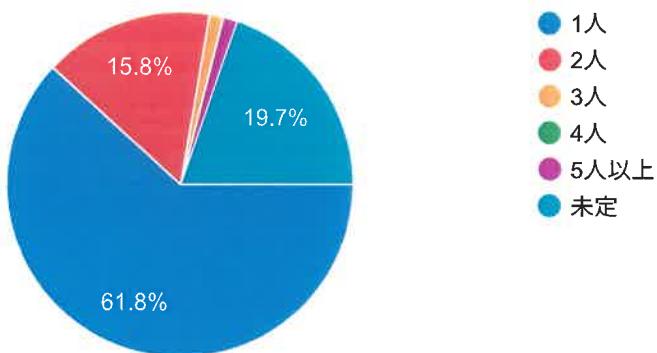
問7. 日本医療大学「ヒューマンデザイン学部医療共生社会デザイン学科(仮称)」を卒業した学生を採用したいと思いますか。

97 件の回答



問8 問7で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか。(あてはまるもの1つ)

76 件の回答



問9. 日本医療大学共生社会デザイン学科(仮称)について、期待する点やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

3 件の回答

心理士系専門職は1名社内に居ると、有用だと思う
違う視点から検討ができケアの質UPが図れるにではと考える

とても重要な仕事だと思いますが、弊社には必要な資格ではないです。

これからの時代、より増える高齢者の対応のためにも必要かと思われます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [フォームのオーナーに問い合わせる](#) - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

